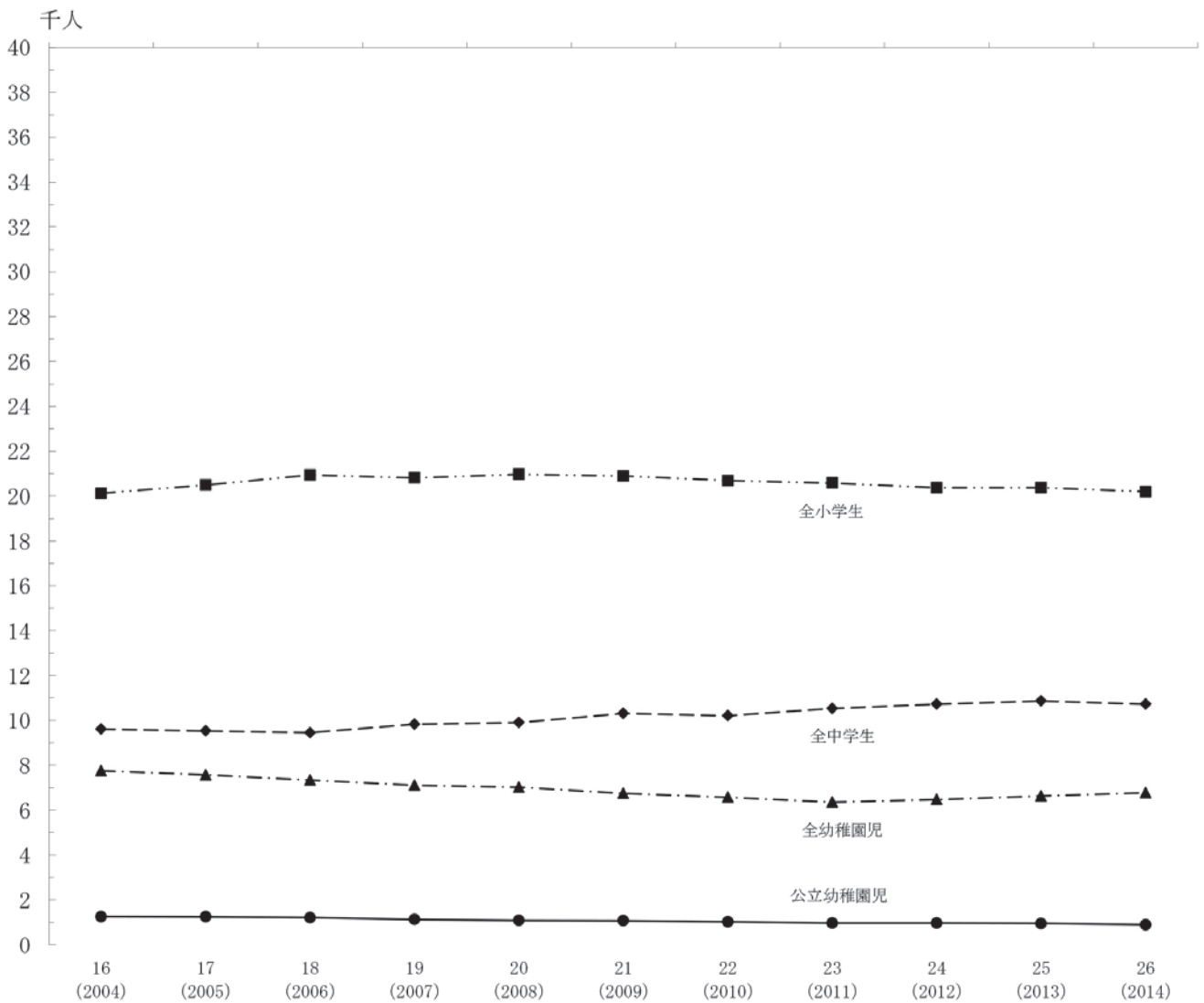


13 教 育 委 員 会

市内学校一覽

平成26年(2014年)5月1日現在

区 分	市 立		国・府立		私 立		計	
	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)	校 園 数	児童生徒 学生数 (人)
大 学 院	—	—	1	4,846	2	1,711	3	6,557
大 学	—	—	1	6,488	4	30,144	5	36,632
短 期 大 学	—	—	—	—	1	57	1	57
高 等 学 校	—	—	5	5,125	3	3,385	8	8,510
中 学 校	18	9,466	—	—	2	1,258	20	10,724
小 学 校	35	20,196	—	—	—	—	35	20,196
幼 稚 園	16	891	—	—	17	5,881	33	6,772



学校施設

1 小学校 (36校)

平成27年(2015年)5月1日現在

小学校名	児童数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)		屋内 運動場 (㎡)	プ ー ル (m)	
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨 その他			
吹田第一	285	16	4,224	4,154	8,378	4,394	83	4,477	25×8	15×4
吹田第二	342	17	7,617	5,799	13,416	6,156	148	6,304	25×10	12×5
吹田第三	555	23	2,891	5,899	8,790	5,490	151	5,641	25×10	12×5
吹田東	333	15	5,712	6,630	12,342	5,757	81	5,838	25×10	7×7
吹田南	722	25	5,365	7,315	12,680	5,787	142	5,929	25×10	10×6
吹田第六	257	11	7,665	8,280	15,945	5,518	117	5,635	25×10	12×5
千里第一	787	27	9,690	4,562	14,252	6,000	257	6,257	25×10	12×5
千里第二	891	30	9,172	10,189	19,361	6,826	153	6,979	25×15	変形 167㎡
千里第三	946	31	7,767	8,625	16,392	6,208	79	6,287	25×10	12×5
千里新田	750	25	7,627	7,438	15,065	5,724	350	6,074	25×10	10×6
佐井寺	724	27	6,619	7,669	14,288	5,807	394	6,201	25×10	10×6
東佐井寺	691	25	6,183	9,642	15,825	6,298	205	6,503	25×10	10×6
岸部第一	290	14	7,303	9,377	16,680	8,687	195	8,882	25×13	10×15
岸部第二	515	19	7,156	7,990	15,146	6,566	101	6,667	25×15	12×5
豊津第一	1,066	36	5,895	7,011	12,906	6,845	119	6,964	25×8	12×5
豊津第二	611	23	6,039	7,185	13,224	6,848	130	6,978	25×10	12×5
江坂大池	384	15	4,615	6,507	11,122	5,714	148	5,862	25×10	12×5

小学校名	児童数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)			屋内 運動場 (㎡)	プ ー ル (m)
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨 その他	計		
山手	557	22	4,908	5,647	10,555	5,845	194	776	25×10 10×5	
山片	781	29	6,325	7,276	13,601	5,998	323	754	25×10 12×5	
山田第一	572	22	4,372	6,114	10,486	5,226	130	783	25×10 12×5	
山田第二	455	17	6,887	6,945	13,832	5,940	155	758	25×10 12×5	
山田第三	452	19	7,902	10,743	18,645	8,472	144	756	25×10 12×5	
山田第五	259	12	5,514	6,800	12,314	5,507	207	755	25×10 12×5	
東山	1,117	40	6,944	7,195	14,139	6,304	383	754	25×10 12×5	
南山	1,357	43	9,174	7,499	16,673	8,548	541	754	25×10 12×5	
西山	464	19	8,260	9,489	17,749	5,548	129	756	25×10 12×5	
北山	523	19	14,585	6,223	20,808	6,869	133	754	25×10 12×5	
千里丘	163	8	5,786	3,721	9,507	8,089	31	1,510	25×10 12×5	
佐竹	551	21	11,456	6,839	18,295	5,454	574	783	25×10 12×5	
高野	225	12	15,140	9,048	24,188	4,846	963	758	25×10 12×5	
津雲	443	19	17,180	7,265	24,445	6,038	117	758	25×10 12×5	
古江	471	18	14,127	10,941	25,068	5,856	136	755	25×10 12×5	
藤白	600	23	15,543	8,176	23,719	6,268	820	758	25×10 12×5	
青山	210	9	14,121	9,320	23,441	6,815	59	755	25×10 12×5	
桃山	567	21	16,323	7,964	24,287	6,220	116	758	25×10 12×5	
千里たけみ	280	13	14,298	14,575	28,873	7,534	309	1,511	25×10 12×5	
合 計	20,196	765	310,385	276,052	586,437	226,002	8,317	29,207	36 校	

2 中学校 (18校)

平成27年(2015年)5月1日現在

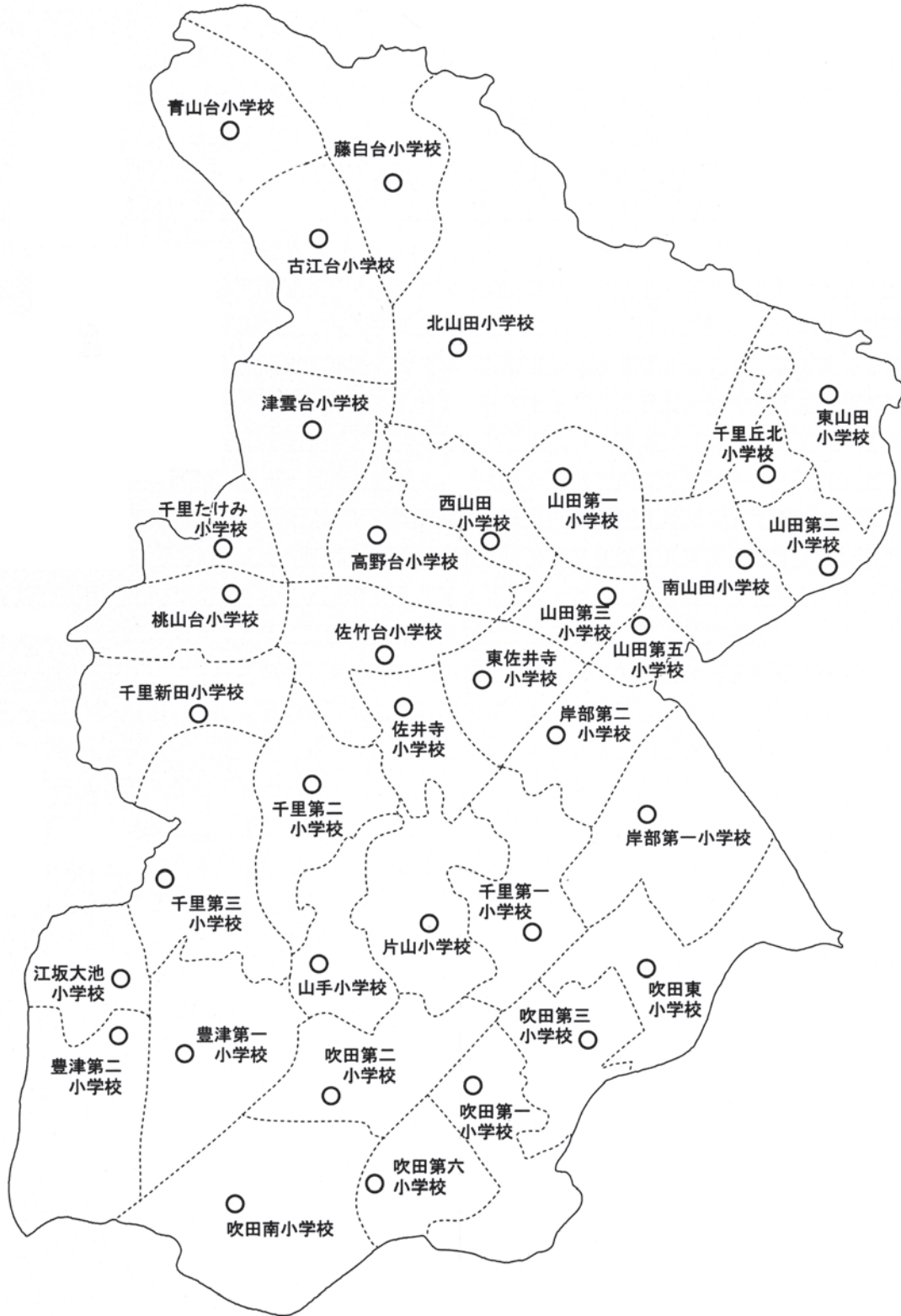
中学校名	生徒数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)		屋内運動場 (㎡)	プール (m)
			建物	屋外運動場	計	鉄筋	鉄骨その他		
第1	784	25	13,384	9,765	23,149	7,027	77	7,104	25 × 15
第2	330	12	12,869	13,055	25,924	11,760	36	11,796	25 × 15
第3	315	12	7,575	12,041	19,616	5,953	128	6,081	25 × 15
第5	525	18	6,459	10,747	17,206	5,557	54	5,611	25 × 15
第6	554	18	6,156	12,459	18,615	4,974	237	5,211	25 × 15
片山	770	23	12,287	12,480	24,767	7,843	232	8,075	25 × 15
寺井	699	21	8,175	10,647	18,822	7,467	158	7,625	25 × 15
南千	431	15	16,711	12,260	28,971	5,563	150	5,713	25 × 15
豊津	705	22	8,598	9,886	18,484	6,345	249	6,594	25 × 15
豊津	383	16	8,190	8,097	16,287	7,042	192	7,234	25 × 15
山田	691	21	6,028	9,524	15,552	5,194	616	5,810	25 × 15
西山	546	17	9,040	14,248	23,288	5,732	150	5,882	25 × 15
山田	508	17	8,646	12,404	21,050	6,340	227	6,567	25 × 15
千丘	765	25	7,974	14,065	22,039	5,413	615	6,028	25 × 15
高野	302	11	10,530	11,837	22,367	4,678	200	4,878	25 × 15
青山	350	11	20,351	19,190	39,541	6,944	179	7,123	25 × 15
竹見	231	10	16,251	10,871	27,122	6,316	160	6,476	25 × 15
古江	412	14	21,722	21,975	43,697	5,116	153	5,269	25 × 15
合計	9,301	308	200,946	225,551	426,497	115,264	3,813	119,077	18校

3 幼稚園 (16園)

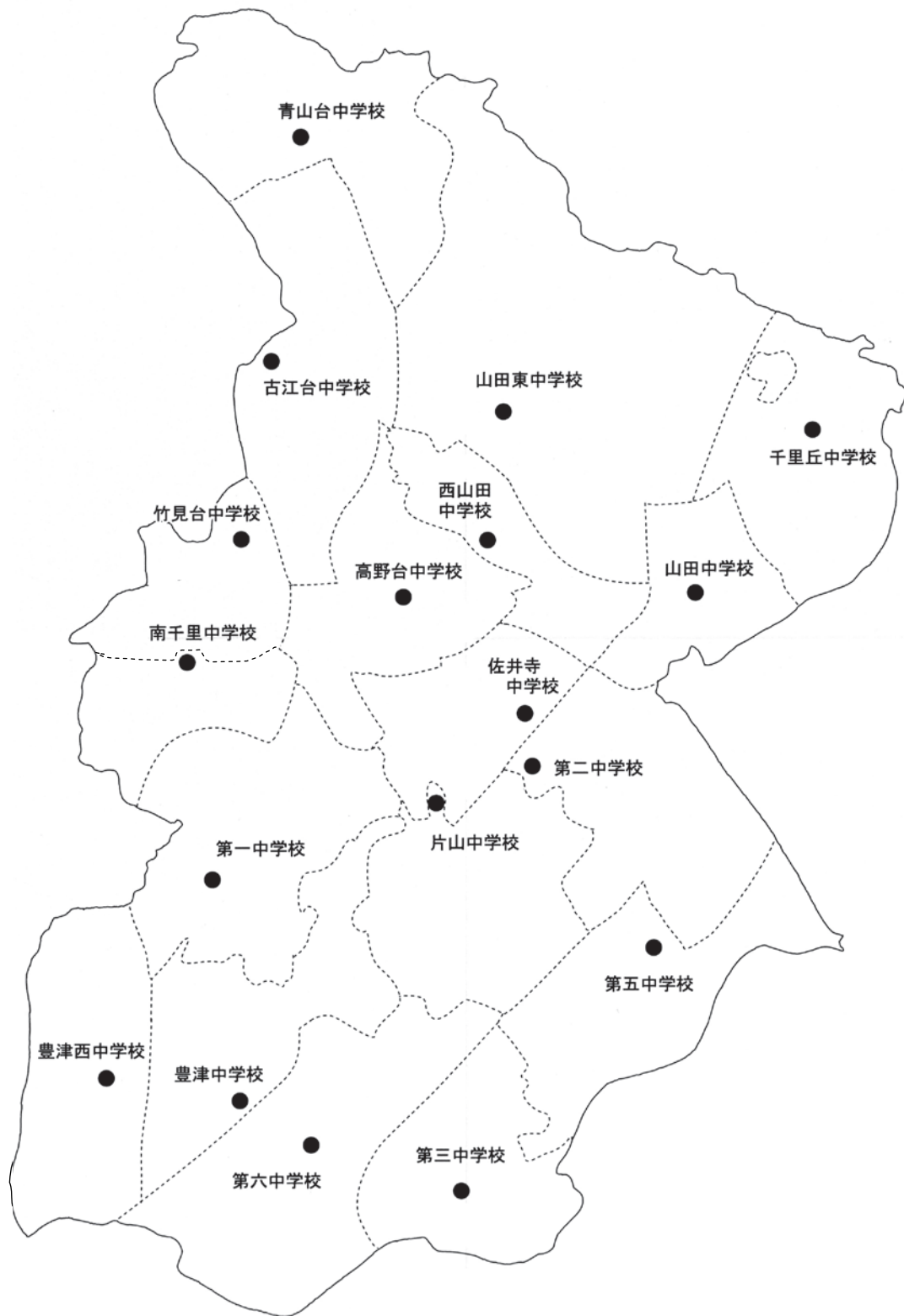
平成27年(2015年)5月1日現在

幼稚園名	園児数 (人)	学級数	園地面積 (㎡)		園舎面積 (㎡)		プール (㎡)
			建物	屋外 運動場	鉄筋	鉄骨 その他	
吹田第一	32	2	888	1,127	686	208	5 × 5
吹田第三	34	2	1,258	723	672	11	5 × 5
吹田南	50	2	870	1,128	728	18	5 × 5
千里第二	50	2	991	1,189	615	11	5 × 5
千里新田	56	2	2,275	903	690	11	5 × 5
東佐井寺	75	3	932	1,262	617	11	5 × 5
岸部第一	48	2	1,027	1,072	794	19	5 × 5
豊津第一	61	2	1,099	1,112	741	10	5 × 6
江坂大池	63	2	1,355	703	664	11	5 × 5
片山	66	2	1,240	893	616	10	5 × 5
山田第一	58	2	2,052	1,348	710	11	6 × 3.17
山田第三	44	2	881	748	774	9	7 × 3.5
東山田	80	3	1,533	901	618	11	5 × 5
南山田	77	3	1,002	813	591	9	5 × 5
佐竹台	45	2	4,690	1,201	271	1,029	6 × 6
古江台	37	2	1,232	811	651	38	3 × 7.5
合計	876	35	23,325	15,934	10,438	1,427	11,865
							16園

4 市立小学校・校区図



5 市立中学校・校区図



保護者負担の軽減

1 学校図書費の市費負担

市費負担とした時期 昭和44年度(1969年度)

(単位：千円)

年度		平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
区分				
小	学	13,726	13,606	80,588
中	学	9,009	8,496	43,361
合	計	22,735	22,102	123,949

2 体育副読本の配布

市費負担とした時期 昭和49年度(1974年度)

(単位：千円)

年度		平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
区分				
小	学	8,471	2,463	2,613
中	学	0	0	0
合	計	8,471	2,463	2,613

小学校・幼稚園の安全対策

1 趣旨及び目的

子供たちの安全確保を目的に、警備員等を配置し、校園門付近を常時監視することで、来校園者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止、抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施する。

2 事業概要

(1) 開始年月日 平成17年(2005年)5月16日

(2) 実施場所 市立小学校35校、市立幼稚園16園

(3) 内容 民間警備会社等に委託し、校園門に警備員又は受付員(各施設1名)を配置

(4) 経費

(単位：千円)

年度		平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
区分				
小	学	57,278	57,492	59,625
幼	稚	10,863	10,902	11,502

各種援助制度

1 市立・私立幼稚園の保護者に対する助成（保育料）

幼稚園教育の一層の普及充実を図るため、園児の保護者を対象に、当該年度の市民税額及び世帯状況に応じ、市立幼稚園や新制度に移行した私立幼稚園においては保育料の決定を、その他の私立幼稚園においては補助金を支給し、保護者の経済的負担の軽減に努める。

(1) 市立幼稚園の利用者負担額（保育料）について

平成 27 年(2015 年) 4 月から子ども・子育て支援新制度が開始されたことにより、市立幼稚園の利用者負担額は世帯の収入に応じた応能負担となる。各階層区分に応じた利用者負担額は下記表のとおりとし、平成 29 年度(2017 年度)までは激変緩和措置を実施し、急激な利用者負担額の増額を軽減している。

なお、平成 26 年度(2014 年度)までの生活保護者、市民税（所得割）非課税世帯及び多子世帯を対象とした減免制度については、応能負担による自己負担金となったことにより廃止となる。

《市立幼稚園の利用者負担額の激変緩和に伴う措置について》

(単位：円/月)

推定年収	階層区分			平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)
				措置 1 年目	措置 2 年目	完全実施
—	A	生活保護世帯	第 1 子	0	0	0
			第 2 子	0	0	0
			第 3 子以降	0	0	0
～270 万円	B	市民税 非課税世帯	第 1 子	0	0	0
			第 2 子	0	0	0
			第 3 子以降	0	0	0
	C	市民税所得割 非課税世帯	第 1 子	2,000	2,000	2,000
			第 2 子	1,000	1,000	1,000
			第 3 子以降	0	0	0
～360 万円	D1	市民税所得割 77,100 円以下	第 1 子	10,000	10,000	10,000
			第 2 子	5,000	5,000	5,000
			第 3 子以降	0	0	0
～680 万円	D2	市民税所得割 211,200 円以下	第 1 子	10,500	10,500	13,600
			第 2 子	6,800	6,800	6,800
			第 3 子以降	0	0	0
～1,020 万円	D3	市民税所得割 366,900 円以下	第 1 子	10,500	13,600	17,600
			第 2 子	7,167	7,167	8,800
			第 3 子以降	0	0	0
1,020 万円～	D4	市民税所得割 366,901 円以上	第 1 子	10,500	17,600	22,000
			第 2 子	7,167	8,800	11,000
			第 3 子以降	0	0	0

- ※第1子…小学生1～3年生の兄又は姉がいない場合の1人就園又は同一世帯から2人以上就園している最年長者
- ※第2子…同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者又は小学校1年生から3年生までの兄・姉が1人いる場合で就園している最年長者
- ※第3子以降…同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児又は小学校1年生から3年生までの兄・姉が2人以上いる場合で就園している最年長者以降又は小学校1年生から3年生までの兄・姉が1人いる場合で就園している次年長者以降
- ※2号認定子どもが特例で幼稚園を利用する場合については、小学校1～3年生の兄又は姉がいる場合の第2子以降のカウントは対象にはならない。

(2) 新制度に移行した私立幼稚園の利用者負担額（保育料）について

上記の市立幼稚園と同様の保育料となる。ただし、市立幼稚園に適用している経過措置はなし（上記表の平成29年度（2017年度）完全実施の欄となる）。

(3) その他の私立幼稚園の園児の保護者に対する助成（満3・3～5歳児が対象）

ア 就園奨励費補助金

イ 保護者補助金

平成27年度(2015年度)(単位：年額 円)

区分	基準			補助金支給額合計		補助金内訳			
				満3・3 歳児	4歳・ 5歳児	就園奨励費		保護者補助金	
						満3・3・ 4・5歳児	満3・ 3歳児	4歳・ 5歳児	
A	生活保護世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	308,000	308,000	308,000	0	0	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	308,000	308,000	308,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	
B	市民税非課税世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	272,000	279,500	272,000	0	7,500	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	290,000	290,000	290,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	
	市民税所得割非課税世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	272,000	272,000	272,000	0	0	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	290,000	290,000	290,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	
C	市民税所得割額①以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	145,200	145,200	115,200	30,000	30,000	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	211,000	211,000	211,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	
D	市民税所得割額②以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	92,200	113,800	62,200	30,000	51,600	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	185,000	185,000	185,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	
E	市民税所得割額③以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	30,000	66,000	—	30,000	66,000	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	154,000	154,000	154,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	
F	市民税所得割額③を超える世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	15,000	15,000	—	15,000	15,000	
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	154,000	154,000	154,000	0	0	
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0	

(注)補助金は、小学校1年生から3年生の兄弟がいる場合は、別途基準表により補助金額に変動がある。

市民所得割額の基準額

- ① 市民税所得割額 3万4,500円に、
16歳未満の扶養親族の数×2万1,300円と16歳以上19歳未満の扶養親族の数×1万1,100円を加えた額
- ② 市民税所得割額17万1,600円に、
16歳未満の扶養親族の数×1万9,800円と16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円を加えた額
- ③ 市民税所得割額32万7,300円に、
16歳未満の扶養親族の数×1万9,800円と16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円を加えた額

支給者及び支給総額

年度	区 分	就 園 奨 励 費		保 護 者 補 助 金	
		人 員	支 給 額 (円)	人 員	支 給 額 (円)
平成24(2012)		2,967	282,814,062	5,227	222,688,246
" 25(2013)		3,070	321,046,735	4,242	170,033,925
" 26(2014)		3,961	504,109,800	3,562	146,864,882

2 小・中学校就学援助制度

(1) 実施時期

毎年度4月に受付（期間後も随時受付をするが、認定は受付月からとする。）

(2) 趣 旨

吹田市立小・中学校に在籍する児童・生徒で経済的理由により就学が困難な場合にその保護者に対して学用品費、小学校の学校給食費、修学旅行費、学校保健安全法に定める疾病の治療のための医療費等必要な援助を行う。

(3) 支給対象

申請者の世帯全員の前年分の所得合計額が生活保護基準に基づいて算定したその世帯の生活費の1.2倍以内の者。

(4) 支給者及び支給総額（医療費を含まず。）

年度	区 分	小 学 校		中 学 校	
		人 員	支 給 額 (円)	人 員	支 給 額 (円)
平成24(2012)		4,135	243,021,717	2,413	128,485,283
" 25(2013)		3,788	223,071,806	2,254	120,961,572
" 26(2014)		3,499	213,816,822	2,115	115,221,127

3 高等学校等学習支援金制度

(1) 実施時期

毎年度4月に募集（期間後も随時受付をするが、認定は受付月からとする。）

(2) 趣 旨

高等学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、中等教育学校の後期課程又は専修学校（高等課程）在学中の者で、経済的理由によりその修学が困難な者に対して、学習支援金を支給する。

(3) 支給対象者

市内に居住している者で、世帯の前年分の所得合計額が市民税所得割非課税措置に準ずる所得額以下であり、受給することが適当であるとの学校長推薦が得られる者。

(4) 支給額

月額 4,000円（公・私立での支給額の区別はなし）

(5) 支給者及び支給総額

年度	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	平成 26 (2014)
支 給 人 員	892	860	829
支 給 総 額 (円)	40,436,000	39,372,000	37,864,000

学校給食

1 学校給食の実施状況

平成27年(2015年)5月1日現在

区分	学校数	児童数(人)	教職員等数(人)	実施数(人)
小学校	36	20,196	1,317	21,513

(注) 1 パン又は米飯、ミルク、副食の完全給食

2 米飯給食は週2.90回

3 給食形態は自校調理方式

中学校給食

1 平成21年(2009年)1月から3校で給食を開始し、その後年次的に実施校を増やし、平成24年(2012年)2月から全校で給食を実施

2 米飯、副食をランチボックスで、ミルクとともに各校へ配送

3 希望する日を選んで1か月ごとに申し込む選択制

2 学校給食職員数

(1) 保健給食室 9人(室長、参事含む)

(2) 栄養教職員(府費) 21人

(3) 給食調理員 78人

3 給食費

平成27年度(2015年度)

区分	給食回数	1食当たりの単価(円)	月額(円)	年間(円)	
小学校	低学年	1年生 188	205	3,650	39,370
		2年生 195	205	3,650	40,150
	中学年	3・4年生 195	208	3,700	40,700
	高学年	5年生 195	211	3,750	41,250
		6年生 193	211	3,750	41,250

(注) 1年生は、4月20日から実施、2～6年生は同9日から実施

中学校給食は、1食300円

進学状況

1 中学校卒業者の進路

平成27年(2015年)5月1日現在(単位:人)

卒業生	進学した者	進学も就職もした者	就職した者	専修・各種学校	その他
3,250	3,218	1	3	45	15

2 高等学校進学状況（全日制）

平成27年(2015年)5月1日現在（単位：人）

区 分		入 学 者					計	
		普通科	総合学科	商業科	農業科	工業科		その他
大阪府	公立	1,357	165	6	10	70	255	1,863
	国立 私立	1,071				13	31	1,115
他府県		110	2	1	1		6	120
計		2,538	167	7	11	83	292	3,098

特別支援

1 支援学級の設置校数及び在籍者数

平成27年(2015年)5月1日現在

障がいの種別	校 種	設 置 校 数			在 籍 者 数 (人)		
		小 学 校	中 学 校	計	小 学 校	中 学 校	計
弱 視		3	1	4	5	2	7
知的障がい		60	20	80	334	100	434
肢体不自由		15	2	17	40	5	45
自閉症・情緒障がい		56	19	75	324	82	406
病 弱		23	5	28	52	9	61
難 聴		5	4	9	17	8	25
計		162	51	213	772	206	978

2 介助員制度

市内支援学級に在籍する児童・生徒の障がいの状況や学校の実態を総合的に考慮し、必要度の高い学校に介助員を配置

平成27年度(2015年度)は49人

3 通学対策

高野台小学校（肢体不自由学級センター校）を対象に3台のリフト付ワゴン車をチャーター

4 機能訓練

高野台小学校（肢体不自由学級センター校）を対象に年35回の機能訓練士による訓練指導の実施

5 その他

- (1) 学校教育研究会支援教育部会行事への補助
- (2) 就学相談、助言等
- (3) 病・虚弱学級（市民病院・小児科病棟院内学級）片山小学校・片山中学校
- (4) 通級指導教室（発達障がい）吹田第二小学校・吹田第三小学校・山田第二小学校・高野台小学校・青山台小学校・豊津第一小学校・千里たけみ小学校・豊津中学校・竹見台中学校内

中学校対外部活動（全国・近畿大会）参加経費の助成

1 実施時期

- (1) 中学校対外運動競技（全国・近畿大会）参加経費の助成
昭和59年（1984年）7月1日から実施
- (2) 中学校対外文化活動コンクール（全国・近畿大会）参加経費の助成
平成2年（1990年）4月1日から実施

2 趣 旨

学校教育活動の一環として開催される国・地方公共団体若しくは学校教育団体の主催又はこれらと関係団体との共催による中学校の対外運動競技又は対外文化活動コンクールのうち、全国・近畿大会に参加する吹田市立中学校の生徒に対して、その経費の一部を助成する。

3 支給対象

大阪府の代表として大会に参加する吹田市立中学校に在籍する生徒で、当該校長の承認を受けた者。ただし、対外運動競技にあつては、団体競技に参加する場合は選手登録された者に限る。

4 支給額

区 分	開催地	金 額
全国大会	近畿圏外	1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（1万円を上限とする）の合計額
	近畿圏内	1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（2,000円を上限とする）の合計額
近畿大会		1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（2,000円を上限とする）の合計額 ただし、宿泊については教育委員会が必要と認めた場合に限る

(注) 本表の交通費は、市旅費条例により算定した運賃及び旅費とする

学校保健

1 心臓検診

小・中学校1年生全員に一次検査（心電図及び問診票調査）を実施し、一次検査で異常があった者と他学年の学校医抽出者等に、二次検査（聴打診及び必要に応じて負荷心電図検査）を実施している。さらに必要のある者には、三次検査として国立循環器病研究センターにおいて精密検査を実施している。

(単位：人)

年度	区分	小 学 校			中 学 校		
		一次検査	二次検査	三次検査	一次検査	二次検査	三次検査
平成24(2012)		3,255	439	38	3,215	481	55
〃 25(2013)		3,244	517	61	3,077	453	49
〃 26(2014)		3,261	546	50	3,048	481	56

2 せき柱側わん症検診

小学校5年生及び中学校2年生の内科検診（受診票による抽出者）、他学年の抽出者及び前年度経過観察者等を対象に受診票、レントゲン直接撮影等により検診を実施し、せき柱側わん症の早期発見に努める。

(単位：人)

年度	区分 学校別	視 触 診	レントゲン	異常なし	経 過	要指導者	要精検査
		受 診 者	受 診 者		観 察 者		
平成24 (2012)	小学校	108	31	20	3	6	2
	中学校	89	50	20	4	22	4
〃 25 (2013)	小学校	101	20	11	2	7	0
	中学校	108	36	13	10	12	1
〃 26 (2014)	小学校	94	30	17	8	5	0
	中学校	83	34	18	3	12	1

3 子供の生活習慣病予防検診

小学校5年生及び中学校2年生の調査票抽出者のうちの希望者並びに前年度の受診結果が要指導及び要経過観察の者のうちの希望者を実施している。

(単位：人)

年度	区分	小 学 校		中 学 校		合 計
		男 子	女 子	男 子	女 子	
平成24(2012)		159	98	53	60	370
〃 25(2013)		165	105	59	52	381
〃 26(2014)		112	78	37	43	270

教育センター

教育センターは、本市の学校教育の向上を図ることを目的として、従来の教育研究所を発展的に拡充した形で設置され、昭和62年(1987年)6月1日から事業を開始した。

1 事業の概要

- (1) 教育に関する専門的な調査・研究
- (2) 教職員の資質を高めるための研修
- (3) 「不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動」等の教育相談
- (4) 教育情報の収集・発信

2 施設の概要

位 置	出口町2番1号(男女共同参画センターとの複合施設)		
敷地面積	1,426.93㎡	建築面積 799.00㎡	延べ床面積 2,847.67㎡ (うち教育センター面積 786.12㎡)
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建		
主要施設	3階—事務・研究室、印刷室、検査室、収納室、相談室(2)、 プレイルーム(2)、言語指導室、小会議室、応接室 2階—視聴覚室、情報科学室		
工 費	228,581千円(総工事費 782,100千円のうち教育センター部分)		

3 事業の内容

- (1) 調査・研究
 - ア 研究グループによる調査・研究(所員・スーパーバイザー・研究員の共同研究)
原則月1回研究会を開き、それぞれの研究グループの成果を、研究報告書、教育研究大会等で発表・報告する。
 - (ア) 発達理解研究グループ
 - (イ) ICT活用研究グループ
 - (ウ) 幼小中一貫カリキュラム研究グループ
 - イ 研究所連盟による調査・研究(共同研究・研究会)
大阪府教育研究所連盟(共同研究部会、教育相談部会、研究発表大会等)
- (2) 教職員研修
 - ア 一般研修講座
 - (ア) キャリアステージにあった研修(初任者研修、フレッシュ研修、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ、ヤングリーダー研修、10年経験者研修、学校パワーアップ研修)
 - (イ) スクールリーダー研修(首席・指導教諭・主幹・主査)
 - (ウ) 教育課題別研修(新教育課程、教育相談、人権教育、理数教育、危機管理、校内授業研究、国語力向上、キャリア教育、グローバル教育等)
 - (エ) 幼稚園・小学校教育研修

(オ) 教科・領域研修（英語教育研修、授業づくり研修等）

(カ) 専門職等研修（事務職員、養護教諭、栄養教諭、学校図書館担当者）

イ 特別支援教育研修

(ア) 通常の学級支援研修（発達障がいの理解、ユニバーサルデザインについて、特別支援教育コーディネータの役割、個別の指導計画の書き方(ワーク)等）

(イ) 事例研修

ウ 情報教育研修

(ア) 情報リテラシー (イ) 授業活用 (ウ) 課題・専門 (エ) システム管理

エ 吹田市教育研究大会

今日的な教育課題や吹田市の重点施策について講演会等を行う。

オ 教育研究報告会

研究成果の報告・発信

カ 研修実施回数、参加人数

平成24年度(2012年度)	213回	延べ	5,630人
〃 25年度(2013年度)	196回	延べ	5,780人
〃 26年度(2014年度)	198回	延べ	5,765人

キ 校内研修支援（中学校パッケージ研修支援）

(3) 教育相談

ア 来所相談

満3歳から18歳（高等学校在学年齢）までの教育上の諸問題について、月曜日から金曜日までと第3日曜日に開設している。時間は午前9時～午後5時（木曜日のみ午後9時まで）。

(単位：回)

来 所 相 談	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
相 談 回 数 合 計	3,332	3,551	3,240

イ 電話相談（いじめの悩み相談、スクール・セクシュアル・ハラスメント相談）

「いじめのなやみ相談ダイヤル」を開設し、幼児、小・中学生と保護者を対象に、専用電話で、いじめ問題の相談に応じている。月曜日から金曜日までと第3日曜日の午前9時～午後5時。

(単位：回)

電 話 相 談	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
相 談 回 数 合 計	202	224	173

ウ 不登校児童・生徒への支援活動

(ア) 家庭訪問活動（フレンドの派遣）

家に引きこもっている児童・生徒に対して、学生等のフレンドを派遣し、児童・生徒の話し相手や遊び相手になり、自立に向けた支援を行う。フレンドは週1回2時間程度の訪問を行い、子どもと1対1の人間関係を深めることから出発し、集団の場である「光の森」や「学びの森」、学校等、外出に導く。

(イ)「学びの森」活動

登校は困難だが、外出可能な児童・生徒を対象に、個別対応を中心とした学習支援や活動を行い、学校復帰を目標に人間関係づくりを学ぶ。

(ウ)「光の森」活動

登校は困難だが、外出可能であり、集団活動に入れそうな児童・生徒を対象に、集団での学習や様々な体験活動を行い、学校復帰を目標に社会的自立を図っていく。

(単位：人)

年度 区分	平成24年（2012年）			平成25年（2014年）			平成26年（2015年）		
	光の森	学びの森	家庭訪問活動	光の森	学びの森	家庭訪問活動	光の森	学びの森	家庭訪問活動
小学生	0	2	0	0	1	0	0	0	0
中学生	13	12	4	13	11	3	12	14	0
小計	13	14	4	13	12	3	12	14	0
合計	31			28			26		

エ 学校出張教育相談

児童・生徒、保護者、教職員を対象とし、市内全18中学校にスクールカウンセラー（国・府派遣）を年間35回派遣するとともに、全小学校において、年間30回（6校）、年間18回（26校）、年間25回（半日・1校）、年間35回（2校合わせて）の教育相談員の派遣を行い、幼稚園・小学校・中学校を含めた各中学校ブロックで学校教育相談を実施している。

(単位：回)

出張教育相談 (小学校)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
相談回数合計	2,756	2,847	2,494

(単位：回)

スクールカウンセラー (中学校)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
相談回数合計	5,519	4,600	4,990

オ 進路選択支援相談

相談窓口の設置、相談員の配置を図り、全ての子供たちが家庭事情や経済的理由などにより、自己の進路を躊躇、断念することなく、積極的に進路を考え、将来に展望を持たせていくことを支援する。

(4) 特別支援教育の推進

家庭や学校と連携し、「LD、ADHD、ASD」等、発達障がいのある幼児・児童・生徒のニーズに基づき、家庭での配慮、学校における必要な対応、教育プログラム、指導方法を研究しながら、教育支援システムを構築するとともに、実践的な支援活動を行う。

ア 巡回等による学校・園への支援及び学校・園との連携

イ 幼児・児童・生徒の特性及びニーズの把握

- ウ 学校・園及び保護者への指導・助言及び啓発支援
- エ 教職員の指導力養成
- (5) 学校教育情報通信ネットワーク
 - 「教育の情報化」の下、次世代を担う児童・生徒のために、学校・家庭・地域をつなぎ、価値ある情報を分かち合い、学ぶ喜びを感じられる教育の機会を創設する。
 - ア 情報活用能力育成及び交流学习支援
 - イ 学習コンテンツの蓄積・発信・活用支援
 - ウ セキュリティ・フィルタリング・情報モラル等運用・管理支援
- (6) 教育情報の収集・発信
 - ア 教育資料の収集
 - イ センターだより・研究報告書・所報の発行
 - ウ 教育資料の充実・活用

生涯学習の推進

「吹田市生涯学習推進計画－生涯学習の都市づくりをめざして－」(平成7年度(1995年度)策定)を引き継ぐ「第2次吹田市生涯学習推進計画」を平成18年度(2006年度)から実施し、総合的な施策の推進を図っている。

平成20年(2008年)10月には、「いつでも、どこでも、だれでも」生涯学習活動に取り組めるよう支援するとともに、学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める「学びの場」として「生涯学習吹田市民大学」を開設した。平成21年度(2009年度)からは、「生涯学習吹田市民大学」の特別講座を実施している。また、関西大学、千里金蘭大学、大阪学院大学との大学連携講座を実施している。

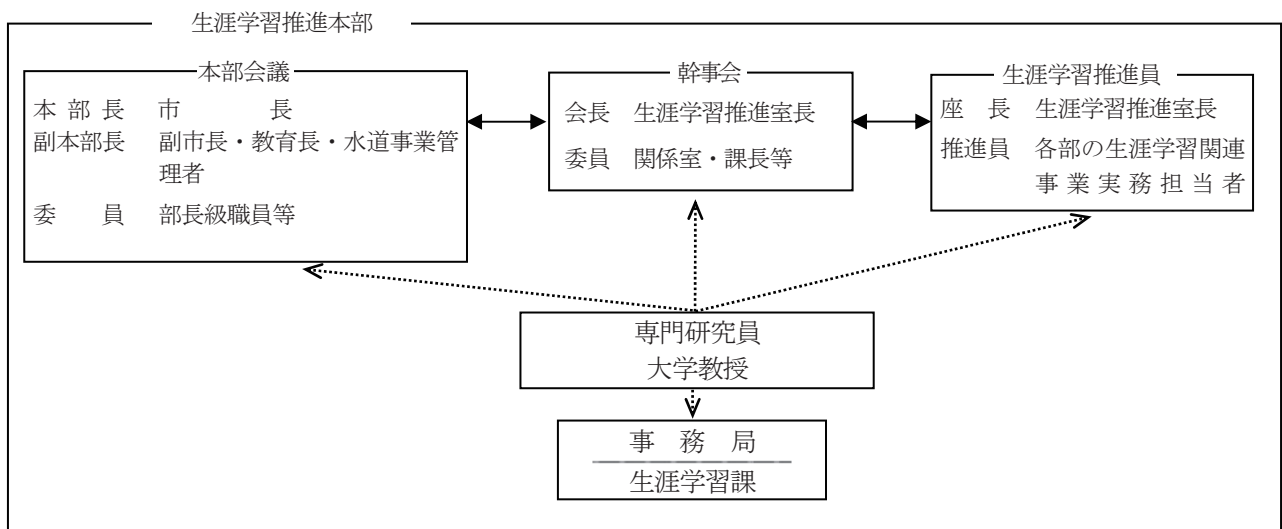
生涯学習施設情報を「ひろがれ」、講座情報を「学びの情報」、人材情報を「ひとの宝箱」、生涯学習活動団体情報を「さ〜くるネット吹田」として生涯学習情報誌の発行を行なうとともに、インターネット上でも同一情報を提供し、生涯学習関連情報の提供の充実を図っている。

市民の皆さんの聞きたい、知りたいという学習意欲に応えるために、市の職員が担当している仕事やこれから取り組もうとしていることについて、出張して話をする吹田市生涯学習出前講座と、山手小学校の地域交流室の開放事業並びに、全ての小学校の多目的教室等を地域の団体に身近な学びや活動の場として開放する小・中学校教室開放事業を実施し、市民の生涯学習の支援を行っている。

1 生涯学習推進体制の整備

生涯学習推進 本部の設置	設置年月日	平成5年(1993年)5月14日
	総括者	本部長：市長 副本部長：副市長、教育長、水道事業管理者
	構成	本部会議：本部長、副本部長、部長級職員等 幹事会：関係室・課長等 推進員：各部の生涯学習関連事業実務担当者
生涯学習推進 専門研究員	生涯学習推進本部の所掌事務に関する専門的事項について指導助言を得る。	

<推進体制図>



2 生涯学習吹田市民大学

特別講座

社会情勢や現代的課題を学ぶ場として、地域の学びの場である地区公民館において実施している。

平成26年度(2014年度)

開催コース名	開催日	受講人数
今考えたい、これからの防災 ～東日本大震災から未来への教訓を学ぶ～	5月23日～7月3日	延べ148人
「公開講座」それでも、わが家から逝きたい ～健やかな老いと静かな終末～	11月14日	15人

大学連携講座

● 関西大学講座

生涯学習吹田市民大学関西大学講座は、一般成人を対象として、現代社会を多面的に分析し、文化教養を深めることを目的に、関西大学との共催で昭和47年（1972年）から実施している。

平成26年度（2014年度）

コース別 テーマ名			開催日	延べ参加人数
前期	1 歴史	世界遺産のある風景 ～地域文化と人々を考える～	6月12日～7月3日	728人
	2 経済・商学	世界史からみた日本の経済社会	6月12日～7月3日	684人
後期	吹田市に住んでいて災害に遭遇しないために		12月18日	100人
計				1,512人

● 千里金蘭大学キャンパス講座

生涯学習吹田市民大学千里金蘭大学キャンパス講座は、一般成人を対象として、文化教養を深めることを目的に千里金蘭大学との共催で平成19年（2007年）から実施している。

平成26年度（2014年度）

テーマ	開催日	延べ参加人数
「女性と文化」の古今東西	11月18日～12月16日	444人

● 大阪学院大学講座

生涯学習吹田市民大学大阪学院大学講座は、一般成人を対象として、文化教養を深めることを目的に大阪学院大学との共催で平成22年（2010年）から実施している。

平成26年度（2014年度）

テーマ	開催日	延べ参加人数
「おもてなし」とは	11月8日～12月6日	131人

3 情報提供誌等の発行

平成26年度（2014年度）

学びの情報	発行月	5月・10月
	配布施設	市の公共施設
	内容	生涯学習吹田市民大学講座や各所管講座、市内大学の公開講座の情報
もよおしいろいろ	発行月	4月・7月・10月・1月
	配布施設	市の公共施設及び市内の理容・美容店、郵便局・銀行
	内容	市や市の財団、その他公的団体等の実施する生涯学習関連の事業を紹介
ひろがれ (学習施設ガイド)	発行月	4月
	配布先	吹田市への転入者など
	内容	市内の生涯学習関連施設約270施設を掲載
ひとの宝箱 (人材バンク 登録者名簿)	発行月	8月
	閲覧場所	市の公共施設
	内容	吹田市生涯学習人材バンク登録者の活動内容、連絡先等
さ〜くるネット吹田 (登録団体名簿)	発行月	8月
	配布施設	市の施設
	内容	グループ・サークルなどの生涯学習活動団体の登録名簿

4 インターネットを使った学習情報提供

「ひとの宝箱」、「吹田市生涯学習出前講座メニュー」、「さ〜くるネット吹田」、「ひろがれ」、「学びの情報」、「もよおいろいろ」の情報を、吹田市ホームページで提供している。

生涯学習人材バンク登録書等、出前講座受講申込書等、さ〜くるネット吹田活動団体登録書等、地域交流室の利用団体登録申込書、利用許可申請書等、小・中学校教室開放事業の団体登録申請書は吹田市ホームページからダウンロードできるようにし、市民の利便性の向上に努めている。

5 地域交流室の開放

平成26年度(2014年度)の利用状況

山手小学校地域交流室 5,462人

6 生涯学習出前講座

平成26年度(2014年度)の実施状況

メニュー数 10分野129講座

実施件数 55件

7 小・中学校教室開放事業

平成26年度(2014年度)末現在の団体登録状況

登録対象学校数 36校

団体登録のある学校数 20校

登録団体数 52団体

8 生涯学習講座

幼児から高齢者まで幅広い市民の方を対象として、学習者が集合して学習を行なう学級・教室などを実施した。

平成26年度(2014年度)

事業名	開催日	内容	対象	延べ参加者数
子育て教室 たんぽぽ	5月30日 ～7月18日	望ましい育児と家庭教育の実現を図るために	3歳～就学前の幼児を持つ親	30人
子育て教室 ちゅうりっぷ	10月23日 ～12月4日	子育ての基礎知識の習得と育児不安の解消	初めて親になる人・なった人	118人
おやこであそぼ	5月29日 ～11月10日	親と子のスキンシップを深めるために	2歳～就学前の幼児とその親	396人
家庭教育学級	5月1日 ～3月31日	家庭教育の大切さを知るために	児童を持つ親	4,835人
聴言障がい者 教養講座	6月17日 ～3月7日	生活の向上に必要な知識を得るために	聴言障がい者	178人
視覚障がい者 活動講座	4月25日 ～2月20日	生活の向上に必要な知識を得るために	視覚障がい者	91人
三島地区生涯学習 連携事業	1月30日 ～2月27日	地域を再発見してもらうために ※高槻市、茨木市、摂津市、島本町との共催	一般	447人

9 夢と希望を広げる出会い事業

児童・生徒等が、吹田市に縁（ゆかり）があり様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学び、将来の生き方を考える機会を提供した。

平成26年度（2014年度）

実施日	実施場所	参加者 (人)	講師	講師肩書
平成26年(2014年)6月4日(水)	片山小学校	272	織田 信成	関西大学大学院文学研究科・体育会アイススケート部所属
” 8月23日(土)	目俵体育館 (第五中学校地域教育協議会)	60	矢部 美幸	吹田PR大使・作家・モデルエージェンシー代表取締役
” 11月27日(木)	津雲台小学校	70	大谷 佐知子	吹田市教育委員・ロサンゼルスオリンピック日本代表 銅メダリスト
平成27年(2015年)1月13日(火)	吹田南小学校	146	和田 光代	平成5年(1993年)パリマラソン優勝
” 1月22日(木)	第二中学校	100	松代 直樹	元ガンバ大阪プロサッカー選手・現ガンバ大阪アカデミーコーチ
” 2月26日(木)	吹田市釈迦ヶ池 土地改良区会館 (第二中学校地域教育協議会)	110	山西 弘一	一般財団法人大阪大学微生物病研究会理事長

公 民 館

1 公民館利用状況

公民館の使用料は原則として無料とし、住民の学習並びに交流の場としている。

(人口は各年度3月31日現在)

年 度	人 口 a (人)	延 べ 利用状況 b (件)	延 べ 利用者数 c (人)	利 用 率 c/a×100(%)	講 座 参加者数 d (人)	受 講 率 d/c×100(%)
平成24(2012)	356,768	29,867	354,600	99.4	51,084	14.4
〃 25(2013)	360,007	31,299	398,759	110.8	49,841	12.5
〃 26(2014)	362,899	31,184	384,175	105.9	50,622	13.2

2 施設の概要

(平成27年(2015年)4月1日現在)

公 民 館 名	所 在 地	供 用 開 始	延べ床 面 積 (㎡)	構 造 ・ 規 模
吹一地区公民館	内本町3-19-21	昭和36(1961).12.13	185	R.C 2階建
吹一地区公民館さんくす分館	朝日町3-505	平成16(2004).5.1	96	R.C 5階建5階部分の一部
山二地区公民館	千里丘下23-19	昭和36(1961).12.13	412	R.C 2階建
吹三地区公民館	高城町19-7	〃 38(1963).9.1	272	〃
岸一地区公民館	岸部中3-20-1	〃 39(1964).5.1	412	〃
千一地区公民館	原町2-12-2	〃 40(1965).5.1	472	R.C 3階建1・2階部分
山一地区公民館	山田東2-33-1	〃 42(1967).6.1	399	R.C 2階建
山手地区公民館	山手町1-8-15	〃 43(1968).4.1	205	〃
南吹田地区公民館	南吹田5-8-24	〃 43(1968).9.1	220	〃
吹二地区公民館	泉町3-15-29	〃 44(1969).2.1	424	〃
豊一地区公民館	垂水町3-15-35	〃 46(1971).4.1	454	R.C 4階建
千二地区公民館	千里山東2-19-23	〃 47(1972).11.1	400	R.C 2階建2階部分
吹田東地区公民館	吹東町3-6	〃 49(1974).12.25	332	R.C 3階建
山三地区公民館	山田西1-26-2	〃 53(1978).2.1	338	R.C 2階建
南千里地区公民館	津雲台1-2-1	〃 54(1979).2.1	1,028	R.C 8階建7階部分
千三地区公民館	千里山西1-12-1	〃 54(1979).5.1	352	R.C 2階建
岸二地区公民館	岸部北4-15-20	〃 55(1980).5.1	346	〃
南山田地区公民館	山田市場18-6	〃 55(1980).5.1	362	〃
北千里地区公民館	古江台4-2-D7	〃 56(1981).3.1	744	〃
豊二地区公民館	豊津町47-1	〃 56(1981).5.1	341	〃
吹六地区公民館	南清和園町40-1	〃 56(1981).5.1	350	R.C 3階建
西山田地区公民館	山田西2-5-1	〃 57(1982).5.1	341	R.C 3階建2階部分
東山田地区公民館	新芦屋上32-1	〃 58(1983).5.1	362	R.C 2階建
片山地区公民館	朝日が丘町15-1	〃 59(1984).5.1	380	R.C 3階建2階の一部及び3階部分
江坂大池地区公民館	江坂町3-63-6	〃 60(1985).5.1	360	R.C 2階建
東佐井寺地区公民館	五月が丘西5-1	〃 61(1986).5.1	380	〃
北山田公民館	山田東4-43-20	〃 61(1986).5.1	361	〃
佐井寺地区公民館	佐井寺南が丘1-1	〃 62(1987).5.1	359	〃
千里新田地区公民館	千里山西6-30-41	〃 62(1987).5.1	360	〃
山五地区公民館	山田南45-13	平成元(1989).5.1	362	〃

3 地区公民館の事業

(1) 地区公民館文化祭

日頃の公民館活動の成果を発表する場として、また、地域文化の向上を期して、地区の特色をいかしながら、全 29 館で文化の日を中心に実施した。

内 容

- ・ 作品展示……写真、絵画、書道、木彫、七宝焼、押し絵、ちぎり絵、アートフラワー、編物、洋裁、和裁、生け花、盆栽、陶芸、その他
- ・ 演芸発表……詩吟、民謡、コーラス、カラオケ、歌体操、大正琴、その他

平成 26 年度(2014 年度)実績

来館者数 延べ4万361人

(2) 地区公民館主催講座

講習会や講演会を始め、社会見学や軽スポーツなど地域住民の求めにこたえた講座を実施した。

平成 26 年度(2014 年度)実績

講座開催回数 延べ1,868回 受講者数 延べ5万622人

(3) グループ活動

住民の自主的な文化・学習のグループ活動が各館で活発に行われた。(書道、絵画、詩吟、琴、ジャズダンス、ヨーガ、洋裁、和裁、レザークラフト、刺しゅう、その他)

図 書 館

平成26年度(2014年度)の市民一人当たりの図書費は170円、蔵書数は2.77冊、貸出数は図書8.82冊、視聴覚資料を含んだ貸出点数は9.64点である。

1 蔵書及び利用状況

(1) 図書資料(団体貸出 4万8,430冊を除く)

平成26年度(2014年度)

館別	種別	蔵書数(冊)			貸出数(冊)			開館(室)日数
		一般書	児童書	計	一般書	児童書	計	
中 央		193,228	59,427	252,655	178,047	133,500	311,547	336
千 里		57,696	27,031	84,727	307,259	172,849	480,108	339
さ ん く す		54,444	24,223	78,667	212,369	95,160	307,529	340
江 坂		36,480	16,689	53,169	227,089	120,729	347,818	338
千里山・佐井寺		216,635	50,470	267,105	250,084	192,871	442,955	337
千 里 丘		43,347	19,295	62,642	247,002	177,974	424,976	339
山 田 駅 前		60,024	20,756	80,780	274,469	133,133	407,602	339
北 千 里		21,731	12,839	34,570	127,131	57,689	184,820	342
山 田		38,389	16,541	54,930	154,960	93,375	248,335	340
自動車文庫		12,451	22,064	34,515	25,062	21,584	46,646	180 (運行日数)
合 計		734,425	269,335	1,003,760	2,003,472	1,198,864	3,202,336	

(注) 1 図書館では1人につき15冊まで2週間を限度に貸出しを行っている。

- 2 登録者数は11万7,458人。
- 3 貸出冊数には紙芝居・雑誌を含む。
- 4 貸出冊数は個人貸出のみとする。

(2) 視聴覚資料

(単位：点)

館別	種別	蔵書数					貸出数				
		ビデオ	DVD	CD	カセット	LD	ビデオ	DVD	CD	カセット	LD
千里		1	2,158	5,326	0	0	555	25,623	38,559	38	0
さんくす		3,038	1,040	16,043	2,043	110	2,224	13,285	31,473	958	0
江坂		1,086	798	8,250	0	0	1,329	13,313	27,432	28	0
千里山・佐井寺		1,772	1,250	7,924	1	0	2,016	12,358	26,302	20	0
千里丘		0	1,086	4,045	0	0	62	9,870	24,906	16	0
山田駅前		0	2,483	5,566	0	0	152	19,650	25,405	11	0
上記以外の館		6	38	14	6	0	375	5,117	13,880	155	0
合計		5,903	8,853	47,168	2,050	110	6,713	99,216	187,957	1,226	0

2 中央図書館

位 置	出口町18-9	工 費	390,744千円
敷地面積	4,814.6 m ²	財源内訳	国庫補助金 15,000千円
建築面積	857.0 m ²		府補助金 15,000千円
延べ床面積	3,392.3 m ²		地方債 246,000千円
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上4階建		一般財源 114,744千円
開館年月日	昭和46年(1971年)11月25日	特 長	吹田市立図書館の中心館として、サービス、資料の充実を図る。特に吹田市の地域資料の収集と保存に努めている。自習室(176席)を設置している。

3 分館・分室

(1) 千里図書館

位 置	津雲台1-2-1	工 費	} PFI方式による。
敷地面積	2,900.66 m ²		
建築面積	2,440.2 m ²	財源内訳	
延べ床面積	図書館部分は 930.94 m ²		
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上8階塔屋1階、地下2階建(千里ニュータウンプラザ)の3階部分	特 長	千里ニュータウン地区にある図書館として、乳幼児から高齢者まで暮らしに役立つ図書館を目指している。健康・医療に関する資料の収集・提供や、多文化サービスを行っている。
開館年月日	平成24年(2012年)9月3日以前は市民センタービル内で昭和53年(1978年)4月1日に開館		

(2) さんくす図書館

位 置	朝日町3-501	特 長	滞在型図書館を目指している。視聴覚資料を初めて導入した館であり、CD所蔵点数が最も多い。かつての鉄道の町にちなむ鉄道コーナーや若い世代向け就職支援のハロージョブ・コーナーを持つ。
延べ床面積	883 m ²		
開館年月日	平成5年(1993年)7月1日		
工 費	61,800千円		
財源内訳	全額一般財源		

(3) 江坂図書館

位 置	江坂町1-19-1	工 費	265,194千円
敷地面積	23,258.0 m ² (江坂公園駐車場、江坂公園自転車駐車場、江坂花とみどりの情報センター、江坂市民サービスコーナーとの複合施設)	財源内訳	全額一般財源
建築面積	385.38 m ²	特 長	ビジネス街に隣接しながら、マンションなど住宅に囲まれた公園にある。暮らしや仕事に役立つ情報発信や、文化イベントの実施を目指している。
延べ床面積	図書館部分は 511.57 m ²		
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下2階塔屋1階建の地下1階部分		
開館年月日	平成8年(1996年)4月1日		
江坂分室として、昭和58年(1983年)4月17日に開室			

(4) 千里山・佐井寺図書館 (愛称:ちさと)

位 置	千里山松が丘25-2	総事業費	1,760,804千円(平成12年度(2000年度)~15年度(2003年度)) うち、建設事業費用等1,437,861千円
敷地面積	2,627.22 m ²		
建築面積	1,353.10 m ²	財源内訳	府補助金 51,500千円 地方債 941,000千円 その他 35,865千円 一般財源 732,439千円
延べ床面積	3,327.58 m ² 東館 2,312.38 m ² 西館 833.09 m ²		
構造・規模	東館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階建 西館 木造地上2階建		
工 期	平成14年(2002年)9月26日~平成15年(2003年)12月26日	特 長	小学校の木造校舎を再現した西館と集密書庫(19万冊収容)を備えた東館からなる。障がい者サービスの拠点施設。録音室・点字室・視覚障がい者用対面朗読室を備えており、多くのボランティアが活動している。「録音」の貸出サービスを行っている。
開館年月日	平成16年(2004年)5月19日		

(5) 千里丘図書館

位 置	千里丘上14-33	工 費	298,015 千円 (平成22年度(2010年度) ~24年度(2012年度))
敷地面積	721.91 m ²	財源内訳	地方債 200,300 千円 一般財源 97,255 千円 その他 460 千円
建築面積	432.33 m ²		
延べ床面積	840.37 m ²	特 長	「やさしい」をコンセプトに、環境、子育て、障がい者や高齢者にやさしい、生活に寄り添った図書館を目指している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建		
開館年月日	平成25年(2013年)1月9日		

(6) 山田駅前図書館

位 置	山田西4-2-43	工 費	548,699 千円
敷地面積	2,348.32 m ² (青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザとの複合施設)	財源内訳	地方債 168,400 千円 一般財源 380,299 千円
建築面積	1,319.50 m ²		
延べ床面積	図書館部分は 1,232.79 m ²	特 長	夢つながり未来館内の他施設と連携しながら地域貢献のできる図書館を目指している。子育てに関する資料や中・高校生向けの資料を多く所蔵している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下2階地上7階建の地下1階・2階部分		
開館年月日	平成23年(2011年)3月27日		

(7) 千里図書館 北千里分室

位 置	古江台4-2 D7	工 費	千里ニュータウン完成記念事業の一環として大阪府が建設し、吹田市へ移管
敷地面積	786.9 m ² (北千里地区公民館との複合施設)		
建築面積	464.4 m ²	財源内訳	府 費
延べ床面積	図書館部分は 155 m ²	特 長	地域密着型の図書室。小規模であるが、北千里駅前という地の利があり、身近で立ち寄りやすい市民の本棚を目指している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上2階建の1階部分		
開室年月日	昭和56年(1981年)4月1日		

(8) 山田駅前図書館 山田分室

位 置	山田西2-5-1	工 費	99,540 千円
敷 地 面 積	810.0 m ² (山田出張所、西山田地区公民館との複合施設)	財 源 内 訳	全額一般財源
建 築 面 積	452.9 m ²	特 長	20年以上地域で親しまれてきた図書室。身近で立ち寄りやすい地域密着型の図書室を目指している。西山田地区公民館の上階にあり、「本のひろば」を共同開催している。
延べ床面積	図書館部分は 379.82 m ²		
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上3階建の3階部分		
開館年月日	昭和62年(1987年)4月1日		

4 自動車文庫

- (1) 昭和44年(1969年)9月、本館から1.5km以遠を対象に積載2,200冊の車1台で開始した。
- (2) // 48年(1973年)9月、1台増車して2台とし、巡回地点を62か所とした。
- (3) // 53年(1978年)4月、千里図書館の開館により巡回地点を48か所とした。
- (4) // 58年(1983年)4月、江坂分室の開室により巡回地点を40か所とした。
- (5) // 62年(1987年)4月、山田図書館の開館により巡回地点を34か所とした。
- (6) 平成3年(1991年)5月、巡回地点を36か所とした。
- (7) // 5年(1993年)7月、さんくす図書館の開館により巡回地点を35か所とした。
- (8) // 6年(1994年)9月、図書館が整備され巡回地点を30か所にしたことにより1台減車した。
- (9) // 10年(1998年)4月、巡回地点を31か所とした。
- (10) // 15年(2003年)1月、巡回地点を32か所とした。
- (11) // 16年(2004年)5月、巡回地点を31か所とした。
- (12) // 16年(2004年)6月、千里山・佐井寺図書館の開館により巡回地点を27か所とした。
- (13) // 16年(2004年)9月、巡回地点を30か所とした。
- (14) // 18年(2006年)9月、排ガス規制により車輛を更新。キャラクターを“ごりまる”に変更した。
- (15) // 19年(2007年)12月、巡回地点を31か所とした。
- (16) // 23年(2011年)4月、山田駅前図書館の開館により巡回地点を29か所としたが、5月に2か所増やし31か所とした。
- (17) // 23年(2011年)11月、巡回地点を30か所とした。
- (18) // 25年(2013年)1月、千里丘図書館の開館により、巡回地点を24か所とした。
- (19) // 27年(2015年)4月、巡回地点を27か所とした。

5 主な行事

市民に親しみやすい図書館を目指して、平成26年度(2014年度)では次の行事等を行った。

子どもと本の講座、子どもと本のまつり、おはなし会、夏休み文庫等特設コーナーの設置、夏のおたのしみ会、秋のおたのしみ会、冬のおたのしみ会、春のおたのしみ会、図書館講座じゅずつなぎ、ビブリオバトル(知的書評合戦)

文化財保護課

1 博物館

地域の文化財を調査・研究して、収蔵・保管し、地域の歴史の中に取り入れて公開・展示を行う。

(1) 施設概要

位 置	岸部北4丁目10番1号
敷地面積	9,007.04㎡ 建築面積 2,189.7㎡ 延べ床面積 3,297.9㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造3階建塔屋1階
総事業費	3,489,094千円
開 館	平成4年(1992年)11月15日
主な施設内容	1階 荷解室、燻蒸室 2階 講座室、一般収蔵庫、特別収蔵庫(1・2)、資料整理室、研究室、 写場・暗室・録音室、保存処理室、資料保管室、和室鑑定室 3階 第1展示室、第2展示室、特別展示室、図書・ビデオコーナー

2 博物館事業

(1) 特別展(春季)

名 称	平成26年度(2014年度)春季展示 『近大趣味人の美意識—第十一代 西尾與右衛門の世界—』
開 催 期 間	平成26年(2014年)4月26日～6月1日
展 示 の 主 題	江戸時代、旧吹田村の仙洞御料の庄屋を務めていた西尾家の文化的活動を代表する11代当主・與右衛門義成(1863～1925年)に関して、初公開となる当家に伝わる多くの書画や茶道具の展覧を通して、近大の財界人、文化人らとの交流やその数寄の心について展示した。
資料収集範囲	吹田市
収 集 件 数	1件
資料出陳点数	93点

関連イベント

プレイベント、開会式、講演会、ギャラリートーク、ワークショップ、演奏会、見学会など
全18回 総参加者数 計962名

(2) 企画展

名 称	平成26年度(2014年度)企画展 『さわって楽しむはくぶつかん in すいた』
開 催 期 間	平成26年(2014年)6月14日～7月6日
展 示 の 主 題	展示資料を触覚など五感を活用して鑑賞するという、モノの製作、使用法など、多くの情報を自ら積極的に得ていく展示手法を取り入れ、さらに視覚障がい者、高齢者、児童の利用といったバリアフリーの方向性を探る展示を目指した。
資料収集範囲	吹田市
収 集 件 数	1件
資料出陳点数	68点

関連イベント

開会式、演奏会、シンポジウム、展示解説、見学会、自然観察会、体験イベントなど
全17回 総参加者数 計1,095名

(3) 夏季展示

名 称	平成26年度(2014年度)夏季展示『紫金山と釈迦ヶ池—まもる自然・つくる環境—』
開 催 期 間	平成26年(2014年)7月19日～8月24日
展 示 の 主 題	自然は守る努力をするとともに、どのように緑や生物を残して環境をつくっていくかという工夫も必要である。吹田市域で数少ない自然が残る博物館周辺の紫金山と釈迦ヶ池の自然について、さまざまな野鳥、昆虫、植物や人々の自然のいとなみについて展示した。
資料収集範囲	吹田市 大阪市 兵庫県
収 集 件 数	17件
資料出陳点数	161点

関連イベント

開会式、講演会、展示解説、紙芝居、工作・自然観察会、コンサート、見学会など
全35回 総参加者数 計2,301名

(4) 博物館実習展

名 称	平成26年度(2014年度)博物館実習展 『すいはくde実習展—收藏品×大学生=∞【無限大】—』
開 催 期 間	平成26年(2014年)9月7日～9月21日
展 示 の 主 題	博物館学芸員資格取得過程である博物館実習受講生に通常、常設展示では公開されていない、収蔵庫に保管されている民俗資料、考古資料、歴史資料の各分野の資料を用い、大学生の独自の視点で資料展示を行った。
資料収集範囲	吹田市
収 集 件 数	1件
資料出陳点数	95点

関連イベント

展示解説
全4回 総参加者数 計117名

(5) 特別展 (秋季)

名 称	平成26年度(2014年度)秋季特別展 『一片の瓦から～東アジアにふれる～』
開 催 期 間	平成26年(2014年)10月4日～11月30日
資料収集範囲	大阪市 奈良県
収 集 件 数	2件
資料出陳点数	176点

関連イベント

講演会、ギャラリートーク、クイズラリー、コンサート、ワークショップなど
全19回 総参加者数 計779名

(6) 講演会

1回 聴講者数 計97名

(7) 歴史講座 (本館学芸員・技師による歴史・郷土史講座)

5回 聴講者数 計118名

(8) その他の講座・研修事業

自然環境講座 1回 参加者数 58名

親子体験講座 1回 参加者数 62名

古文書を読む会 7回 参加者数 計153名

魅力再発見 西国街道（歴史街道推進協議会との連携）吹田郷土史研究会との共催

2回 参加者数 計 252 名

北大阪ミュージアムネットワーク事業

北大阪ミュージアムメッセ・シンポジウム 全2回 参加者数 3,817 名

バックヤードツアー 1回 参加者数 30 名

大学博物館館園実習 9日間 受講生 延べ144 名

発展途上国博物館担当官への博物館技術研修 5日間 受講生 延べ22 名

学芸員インターシップ 2日間 受講者数 延べ2 名

小中学校教諭対象 バスで巡る吹田の歴史探訪 参加者数 19 名

小中学校校長会研修会 1回 42 名

第二中学校 社会教諭との博物館利用に関する研究会 2回

(9) 学校教育との連携事業

特別企画『むかしのくらしと学校』開催 見学学校数 29 校

開催期間	平成26年(2014年)12月9日～平成27年(2015年)4月5日
展示の主題	小学校3年生の「くらしのうつりかわり」をテーマとして、数十年前の暮らしを、衣・食・住の資料から再現し、先人の生活の知恵と工夫を学ぶとともに、学校の教材・教科書・給食材・遊具などにより、昔の学校生活と遊びの様子を学習した。

出前授業 8校 受講者数 計 880 名

関連事業 体験イベント8回 参加者数 計 488 名

特別企画説明会及び懇談会 1回 参加者数 29 名

職場体験学習 市内中学校 11校 参加者数 延べ67 名

吹田高校 高校連携事業 地域社会研究講義 6回 聴講者数 計116名

(10) 出張展示

「岸部の歴史とむかしのくらし」(会場 青少年クリエイティブセンター)

「ラコルタかえっこバザール」(会場 市民公益活動センター)

(11) 常設展示事業

ア 第1展示室

展示の主題	吹田の原始・古代から近代・現代までのあゆみを、時代を追って展示・解説した通史展示室
展示の資料	市内を中心とした考古資料・古文書・民俗資料・美術工芸資料など約650点・移築資料2点
その他の資料	パネル43点・模型12点・レプリカ11点・ビデオガイド4台

イ 第2展示室

展示の主題	千里丘陵の良質な粘土を素材として、大規模に展開した古代の須恵器生産や瓦の生産を学習するテーマ展示室
展示の資料	古墳時代須恵器・古代宮殿用瓦・近世～近代瓦の生産資料など約150点・移築遺構(窯跡)1点・パネル掲示板5点・体験コーナー「宮殿の瓦を葺こう」
その他の資料	パネル17点・模型5点・レプリカ3点・ビデオガイド4台

ウ その他の展示（ロビー展示）

展示の名称	古代飾り馬
開催期間	常設（特別展開催期間を除く）
展示の主題	市内新芦屋古墳出土古代馬具を復元し、古代馬体荷装着して飾り馬を再現した
展示の資料	復元馬具一式・古代馬(天然記念物御崎馬の複製)・黒御影石台座付き

展示の名称	アサヒビール木製貯酒樽
開催期間	常設
展示の主題	明治25年に操業開始した大阪麦酒吹田村醸造所(現アサヒビール吹田工場) で使われていた熟成用貯酒樽を関連写真や煉瓦と展示。
展示の資料	木製貯酒樽・醸造棟使用煉瓦1点・写真3点

展示の名称	山田銅鐸復原
開催期間	常設
展示の主題	山田出土銅鐸を正確に模した鋳型を造り、弥生時代の合金成分比に合致した青銅によって、銅鐸を忠実に再現した。内部は舌(ぜつ)があり、振り動かすと2000年前の音色を聞くことができる。
展示の資料	復原銅鐸1点・黒御影石製台座付き

展示の名称	日本万国博覧会会場模型
開催期間	常設
展示の主題	昭和45年(1970年)に千里丘陵で開催された史上最高の入場者を集めた万国博覧会の2,000分の1の会場模型

展示の名称	千里ニュータウンの集合住宅流し台
開催期間	常設
展示の主題	1960年代の公団住宅に採用されたステンレス流し台の標準タイプである「公共住宅流し台(KJ流し台)」。千里ニュータウンの集合住宅のほとんどで導入された。

展示の名称	応接室ギャラリー
開催期間	常設
展示の主題	西村公朝作彫刻 3点 村居正之作絵画 2点

(12) 資料収集

分野	寄贈	寄託	購入
歴史資料	1件 (20点)	0件 (0点)	2件 (16点)
民俗資料	0件 (0点)	0件 (0点)	0件 (0点)
美術資料	0件 (0点)	0件 (0点)	1件 (1点)
考古資料	0件 (0点)	0件 (0点)	0件 (0点)

(13) 資料調査など

分野	内 容
特別展など 展示関連調査	中国・朝鮮半島古代瓦、五反島出土瓦、吉志部・七尾瓦窯出土瓦、吹田市域絵図資料、西尾家文書（書簡類）、悪水井路関連資料、千里山住宅、西村公朝作品・修復文化財、紫金山・釈迦ヶ池の自然
その他の調査	亀岡街道の道標、アーネスト・サトウ『日本滞在記』の吹田、戦時下の吹田、千里ニュータウンの生活史、博物館資料・制度・運営・教育
資料整理	市内古写真の収集及びデータベース化、館所蔵近世・近現代資料の整理

(14) 資料保存処理

名 称	回数	内 容	効 果
収蔵庫環境維持管理 モニター調査	2回	昆虫等生息調査・空中浮遊真菌類調査・室内塵埃中小動物調査	収蔵庫資料の虫菌害防除のため館内の保存環境維持管理に役立てるデータ調査
密 閉 燻 蒸	2回	燻蒸室での密閉燻蒸処理	新規収集資料の殺菌・殺虫・殺卵処理

(15) 刊行物

名 称	版・頁・部数	刊 行 日
博物館だより No. 58	A 4・8頁3,000部	平成26年(2014年)7月4日
博物館だより No. 59	A 4・8頁3,000部	〃 9月15日
秋季特別展一片の瓦からー東アジアにふれるー 図録	A 4・32頁1,200部	〃 10月4日
博物館だより No. 60	A 4・8頁3,000部	〃 12月25日
博物館だより No. 61	A 4・12頁3,500部	平成27年(2015年)3月10日
吹田市立博物館 館報第15号	A 4・108頁 800部	〃 3月31日
春季特別展 生誕100年 西村公朝展ーほとけ の姿を求めてー展図録	A 4・42頁1,400部	〃 3月31日
中学校歴史教材 吹田の歴史に触れてみよう (第二中学校版)	A 4・8頁2,000部	〃 3月31日

(16) ボランティア活動

名 称	内 容	日 数	参加人数
博 物 館 ボ ラ ン テ ィ ア	夏季展示の企画・運営、企画展の展示 解説、特別企画の企画・造作、指導解 説、その他博物館主催事業の補助	161日	延べ937名
喫 茶 ミ リ カ	入館者への喫茶サービス	25日	延べ100名

(17) 平成26年度(2014年度)利用状況

来館者数

(開館日数 297日) (単位：人)

観 覧 者	一 般	高齢者	高校・大学生	小・中学生	その他	合 計
	2,612	775	196	250	7,858	11,691
講 座 等 受 講 者						19,302
合 計						30,993

3 文化財保護業務

埋蔵文化財包蔵地における土木工事に係る発掘調査等の文化財保護業務を行う。

(1) 指定文化財及び登録文化財

アー1 文化財保護法で指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
史跡	昭和46年6月23日 (1971年)	吉志部瓦窯跡	1群	岸部北4丁目	吹田市 吉志部神社	平安初期 瓦窯跡群
〃	昭和55年3月24日 (1980年)	七尾瓦窯跡	1群	岸部北5丁目	吹田市 個人	奈良時代 瓦窯跡群
重要文化財	昭和36年2月17日 (1961年)	石枕	1個	山手町3丁目	関西大学 文学部	天理市 柳本町出土 (蛇紋岩製)
〃	昭和39年5月26日 (1964年)	河内国府遺跡出土 品 石製球状耳飾 ほか	21個	山手町3丁目	関西大学 文学部	藤井寺市 国府出土
〃	平成21年12月8日 (2009年)	旧西尾家住宅 主屋ほか	7棟	内本町2丁目	国 (管理団体) 吹田市	近代大型 和風建築
重要無形文化財	平成26年10月23日 (2014年)	能囃子方太鼓		高浜町	三島元太郎	
重要有形民俗文化財	昭和30年2月3日 (1955年)	おしらさま コレクション	33体	千里万博公園 10番1号	国(国立民族学 博物館保管)	
〃	昭和30年2月3日 (1955年)	背負運搬具 コレクション	62点	千里万博公園 10番1号	国(国立民族学 博物館保管)	

アー2 文化財保護法で登録されているもの

種別	登録年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
登録有形文化財	平成14年2月14日 (2002年)	千里寺本堂	1棟	千里山西1丁目	千里寺	昭和初期の大 嘗祭建物(饗 宴場)の一部
〃	平成14年6月25日 (2002年)	大光寺太子館	1棟	岸部中5丁目	大光寺	昭和初期の和 洋折衷の仏堂
〃	平成15年7月1日 (2003年)	中西家住宅 主屋 ほか	7棟	岸部中4丁目	吹田市 個人	江戸後期・明 治の大型民家 建築

種 別	登 録 年 月 日	名 称	員数	所 在 地	所 有 者 又 は 保 管 者	備 考
登録有形文化財	平成16年6月9日 (2004年)	榎原家住宅 主屋ほか	6棟	豊津町	個人	江戸末期・明治の大型民家建築
〃	平成18年10月18日 (2006年)	岡田家住宅	1棟	千里山西5丁目	個人	昭和初期の郊外型住宅
〃	平成18年10月18日 (2006年)	亘家住宅 主屋ほか	5棟	内本町2丁目	個人	江戸中期・後期、明治の大型民家建築
〃	平成19年7月31日 (2007年)	関西大学簡文館	1棟	山手町3丁目	関西大学	昭和初期の図書館建築
〃	平成23年6月27日 (2011年)	本山彦一蒐集考古資料	18,945点	山手町3丁目	関西大学	
登録記念物	平成25年8月1日 (2013年)	旧中西氏庭園	1	岸部中4丁目	吹田市人	近世後期～近代に造営・改修された庭園
〃	平成25年8月1日 (2013年)	旧西尾氏庭園	1	内本町2丁目	国	明治～大正時代に造営・改修された庭園

イ 大阪府文化財保護条例で指定されているもの

種 別	指 定 年 月 日	名 称	員数	所 在 地	所 有 者 又 は 保 管 者	備 考
有形文化財	昭和45年2月20日 (1970年)	圓照寺木造准胝観音立像	1軀	山田東3丁目	圓照寺	平安時代前期
〃	昭和45年2月20日 (1970年)	佐井寺木造地藏菩薩立像	1軀	佐井寺1丁目	佐井寺	平安時代前期
〃	昭和47年3月31日 (1972年)	紫雲寺本堂内陣鳥獣図	82面	山田東2丁目	紫雲寺	江戸時代
〃	昭和49年3月29日 (1974年)	圓照寺木造観音菩薩立像	2軀	山田東3丁目	圓照寺	平安時代前期
〃	平成3年3月29日 (1991年)	新芦屋古墳出土馬具	一括	岸部北4丁目	吹田市教育委員会	古墳時代後期
〃	平成23年1月14日 (2011年)	山田伊射奈岐神社本社本殿	1棟	山田東2丁目	伊射奈岐神社	江戸時代、17世紀後半
有形民俗文化財	平成21年1月16日 (2009年)	玩具および関連世相資料(多田コレクション)	一括	千里万博公園10番1号	国立民族学博物館	江戸時代～現代/13,895件、56,083点

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
史跡	平成5年3月31日 (1993年)	吉志部瓦窯跡 (工房跡)		岸部北4丁目	吹田市	平安時代初期
無形 文化財	平成26年4月30日 (2014年)	鍛金	1件	日の出町	三好正豊 (三好光正)	

ウー1 吹田市文化財保護条例により指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保護団体	備考
有形 文化財	平成10年9月30日 (1998年)	絹本著色 妙音天像	1幅	山田東3丁目	圓照寺	鎌倉時代末期
〃	平成18年5月23日 (2006年)	中西家住宅 附・木樋ほか	9棟	岸部中4丁目	吹田市 個人	内、7棟国登録 有形文化財
〃	平成21年2月23日 (2009年)	玉林寺文書 附・包紙ほか	6通	出口町10番	玉林寺	戦国時代
〃	平成21年2月23日 (2009年)	佐井寺伊射奈岐 神社社号標石	1基	佐井寺1丁目	伊射奈岐神社	江戸中期
〃	平成18年5月23日 (2006年)	五反島遺跡出土鏡	1面	岸部北4丁目 (市立博物館)	吹田市 教育委員会	奈良時代、 8世紀
〃	平成21年2月23日 (2009年)	垂水南遺跡出土 墨書土器	27点	岸部北4丁目 (市立博物館)	吹田市 教育委員会	平安時代
〃	平成23年4月11日 (2011年)	蔵人稻荷神社 本殿	1棟	豊津町	稻荷神社氏子	江戸時代、 17世紀後期
〃	平成23年4月11日 (2011年)	江坂素盞鳴尊神社 本殿	1棟	江坂町3丁目	素盞鳴尊神社	江戸時代、 17世紀後期
有形 民俗 文化財	平成10年9月30日 (1998年)	六地藏地車 附・棟札	1台	高浜町	六地藏自治会	天保10(1839)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	西奥町地車	1台	高浜町	西奥町自治会	天保期建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	神境町地車 附・棟札	1台	南高浜町	神境町自治会	天保13(1842)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	川面町地車 附・棟札	1台	西の庄町	川面町自治会	嘉永7(1854)年 建造

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は保護団体	備考
有形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	金田町地車 附・棟札	1台	金田町	金田町自治会	嘉永7(1854)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	浜の堂地車	1台	西の庄町	浜の堂自治会	幕末～明治期建 造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	都呂須地車	1台	内本町2丁目	都呂須自治会	天保6(1835)年 建造
無形民俗文化財	平成23年4月11日 (2011年)	吉志部神社のどんじ 附・當人文書ほか		岸部北4丁目	吉志部神社 どんじ保存会	
天然記念物	平成23年4月11日 (2011年)	ヒメボタル生息地と そのヒメボタル		吹田千里緑地 第4区	吹田市	

ウー2 吹田市文化財保護条例により登録されているもの

種別	登録年月日	名称	員数	所在地又は主たる事務所の所在地	所有者又は保護団体	備考
地域有形文化財	平成10年9月30日 (1998年)	絹本墨画 不動明王像	1幅	山田東3丁目	圓照寺	南北朝時代
地域有形民俗文化財	平成21年2月23日 (2009年)	江坂素盞鳴尊 神社太鼓御輿	1台	江坂町3丁目	江坂連合自治会	嘉永6(1853)年
地域無形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	山田伊射奈岐 神社太鼓神輿			山田伊射奈岐 神社太鼓神輿 保存会	
〃	平成10年9月30日 (1998年)	泉殿宮神楽獅子			泉殿宮神楽 獅子保存会	
〃	平成10年9月30日 (1998年)	権六おどり			山田地区権六 おどり保存会	
〃	平成21年2月23日 (2009年)	江坂素盞鳴尊神社 太鼓御輿神事			江坂連合自治会	

(2) 歴史的建造物保存・活用事業

国指定重要文化財である旧西尾家住宅（内本町2丁目）は、近代和風建築として重要な建造物であり、旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）として一般公開している。

また、国登録有形文化財及び市指定有形文化財である中西家住宅（岸部中4丁目）は、中西家より市に寄附していただき、平成19年（2007年）11月17日から旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開している。

ア 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）

（ア）平成26年度（2014年度）旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）事業

年月日	事業名	内容	参加者
平成26(2014)年4月19日 ～ 平成26(2014)年5月6日	端午の節句	節句行事として五月人形と鯉のぼりを展示	延べ531名
平成26(2014)年4月27日	春の大茶会	露地（東屋横）で大茶会を開催	70名
平成26(2014)年5月1日 ～ 平成26(2014)年5月9日	吹田くわいの苗を配布	期間中に吹田くわいの苗を希望者に配付	延べ125名
平成26(2014)年5月11日 ～ 平成27(2015)年3月8日	和の学校伝統文化こども教室（茶道）	和の伝統文化こども教室の一つとして主座敷において茶道教室を開催	延べ233名
平成26(2014)年7月1日 ～ 平成26(2014)年7月7日	七夕まつり	前庭・計量部屋に笹飾りの展示	延べ126名
平成26(2014)年9月23日	観月コンサート	関西大学文化会による能や和楽器の演奏	76名
平成26(2014)年10月26日 ～ 平成26(2014)年11月25日	菊花展示会	吹田市菊花連盟会員の作品を主屋前等に展示	延べ730名
平成26(2014)年10月26日	秋の大茶会	露地（東屋横）で大茶会を開催	60名
平成26(2014)年11月16日	貴志康一メモリアルコンサート	吹田ティーンズクラシックフェスティバル入賞者の演奏や貴志康一に関する講話、蓄音機コンサート	106名
平成26(2014)年12月23日	和の学校伝統文化こども教室（正月飾り）	和の学校伝統文化こども教室として小・中学生と親を対象にしめ縄を手作りする	21名
平成26(2014)年12月26日 ～ 平成27(2015)年1月14日	門松・しめ縄飾り	正門に門松としめ縄を飾る	延べ67名
平成27(2015)年1月17日 ～ 平成27(2015)年1月25日	新春“墨”を使った作品展	書、水墨等の作品展	延べ373名
平成27(2015)年2月14日 ～ 平成27(2015)年3月3日	ひな祭り	雛飾りの展示、子ども衣装着付け、人形劇などの開催	延べ657名
平成27(2015)年3月14日 ～ 平成27(2015)年4月12日	第4回小さな特別展 西尾家に伝わった袱紗と風呂敷	西尾家に伝えられてきた袱紗、風呂敷に関する展示	延べ846名
5月・9月・11月・3月第4日曜日	定例茶会	積翠庵などを使った茶会	延べ91名

（イ）平成26年度（2014年度）旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）来館者数 8,244人

イ 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）

（ア）市指定有形文化財及び国登録有形文化財である中西家住宅を保存し、その価値をいかした活用を図ることにより、地域の伝統文化の継承と新たな文化の創生に資することを目的とし、旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開や迎賓施設としての使用を行った。また、4月4日から4月12日、11月20日から11月28日にそれぞれ春と秋の特別公開を行った。

（イ）平成26年度（2014年度）旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）来館者数 1,660人

青少年室

1 青少年指導員制度（指導員158人、平成27年（2015年）4月1日現在）

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| (1) 学校・青少年関係団体との情報交換と連携強化 | (6) 青少年健全育成事業の推進 |
| (2) 子どもたちを温かく見守る地域づくり | (7) 青少年の健全育成啓発活動の推進 |
| (3) パトロールの強化 | (8) 環境整備活動の推進 |
| (4) こども会活動の活性化 | |
| (5) ジュニアリーダーの養成と活用 | |

2 健全育成事業

- (1) こども劇場
- (2) こども会スポーツ大会
- (3) 成人祭
- (4) 青少年野外コンサート
- (5) ヤングフェスティバル

3 指導者養成事業

- (1) 青少年リーダー講習会
- (2) 三島ブロックこども会育成者研修会
- (3) 吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会
- (4) 青少年指導者講習会

4 非行防止、環境整備対策

青少年指導員、地区青少年対策委員会、PTA、自治会、その他青少年関係機関・団体の協力を得て、街頭指導及び一般市民への啓発活動を行う。

(1) 環境整備活動の推進

7月の「社会を明るくする運動月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に青少年指導員並びに地域の各種関係団体の協力を得て、全市一斉合同パトロールを行い、青少年の非行防止のための街頭指導、危険箇所の点検を行う。

(2) 「少年を守る日」の運動

毎月5日を「少年を守る日」と定め（府下全域）、青少年指導員を中心に地域の青少年関係者が街頭指導等「愛の一声運動」を実施し、青少年の自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に関する市民一般の理解と協力を得るよう啓発活動を実施する。

(3) 青少年社会環境実態調査の推進

青少年が健全に成長できる環境づくりを効果的に推進するため、関係事業者の業務状況を把握していく。

(4) 子ども・若者育成支援強調月間運動の推進

11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、家庭、地域へ非行防止の啓発を図るとともに、それぞれの地域で講演会、座談会、映画会、その他文化、体育諸行事を実施し、青少年問題について市民意識の高揚を図る。

(5) 地域安全・青少年育成吹田市民大会

犯罪のない安全で住み良い地域社会づくりと青少年の育成を目指し、学校・家庭・地域が一体となった啓発の場とする。

主 催：吹田市、吹田市教育委員会、吹田警察署、
市民大会実行委員会（構成団体19団体、協賛団体39団体）

日 時：平成26年(2014年)10月3日

会 場：吹田市文化会館

参加者：1,100人

5 青少年団体の育成援助

(1) 地区青少年対策委員会への助成

地域における青少年に関係ある機関・団体に構成されている委員会へ助成することにより、地域における総合的青少年活動の推進を図る。

(2) こども会育成協議会（市こ協）の育成指導

加盟こども会の推移（各年度末現在）

年度	区分	こども会数	会 員 数	リーダー数	育 成 者 数
平成24(2012)		220	7,490	185	5,068
〃 25(2013)		212	6,980	182	4,806
〃 26(2014)		208	6,507	180	4,515

6 こどもプラザ事業

水曜日の放課後や長期休業日及び土曜日に、子供たちが安心して安全に活動できる場所や機会を小学校を主な会場として提供し、地域との協働によって見守り、育むことを目的としている。

平成26年度（2014年度）実施校：市内全35小学校

7 地域教育協議会への委託

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協働して青少年の成長を見守り育む教育コミュニティづくりを目指し、様々な活動のネットワーク化を図るための事業を、平成13年度(2001年度)に全18中学校区に設置された地域教育協議会に委託する。

自然体験交流センター

1 施設の概要

位置 藤白台5丁目20番1号
目的 青少年に集団での生活を通じて自然と共生し、あらゆる生物のいのちの尊さを体感する場を提供するとともに、市民に自然をいかした生涯学習及び交流の場を提供し、青少年の社会性及び豊かな人間性を育むことを目的とする。

敷地面積 48,933㎡

(1) キャンプサイト

開設年月日 昭和36年(1961年)12月14日

建築面積 992.62㎡

延べ床面積 1,066.86㎡

構造・規模 鉄筋コンクリート造平屋建(旧管理棟、野外食堂、多目的ホール、便所・シャワー室、わんぱくサイト便所)
木造平屋建(キャビン2棟)

(2) 本館棟

開設年月日 平成21年(2009年)7月1日

建築面積 1,163.54㎡

延べ床面積 1,975.85㎡

構造・規模 鉄筋コンクリート造2階建(宿泊室、食堂、浴室、研修室、会議室、工作室、事務室等)

2 施設の利用状況 平成26年度(2014年度) (単位:人)

利用者延べ人数	男	20,061
	女	20,989
	計	41,050

3 センター主催事業 平成26年度(2014年度)

サマーキャンプ、ウインターキャンプ、スプリングキャンプ、リーダーシップキャンプ、ファミリーデイキャンプ、ファミリーキャンプ、幼児の自然体験活動プロデュース、こどもエコクラブ、地域の環境保全講座、千里の森里山保全学習事業、自然観察会、草花遊び教室、バンブージャンプクラブ、食育講座、自然素材のハンドメイド講座、学びのカレッジ、ふれあい交流広場、森のようちえん、ソフリエ・パパシエ講座、すくすく竹のっこクラブ、いざっ!という時の生活術、キャンプカウンセラー養成事業、野外教育・自然体験活動指導者養成事業、環境学習ワークショップ

4 施設の運営

指定管理者 一般財団法人 大阪市青少年活動協会による管理

(指定期間:平成24年(2012年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日まで)

勤労青少年ホーム

平成26年(2014年)3月末限りで廃止し、建物除去のため、解体撤去工事を実施

工 期 平成26年(2014年)11月18日～平成27年(2015年)3月31日

工 費 52,454千円

少年自然の家

1 施設の概要

位 置	滋賀県高島市今津町南生見
目 的	少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じて、心身の健全な育成を図る。
敷地面積	41,782.0㎡
建築面積	1,472.1㎡
延べ床面積	2,744.3㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造2階建一部地階
構造・規模	宿泊室24室、リーダー室2室、体育室、食堂、浴室、野外食堂2棟、キャンプ場等
宿泊定員	本館 208人、キャンプ場 100人
開設年月日	昭和55年(1980年)5月5日

2 施設の利用状況 平成26年度(2014年度)

(1) 利用人数等

実 人 員	男	5,610	利用日数別 延べ人員	日 帰 り	1,276
	女	5,482		1泊2日	17,076
	計	11,092		2泊3日	2,893
延べ人員	男	11,385		3泊以上	1,147
	女	11,007		計	22,392
	計	22,392		本 館	16,227
利 用 率	開 所 日 数	313	利用箇所別 延べ人員	野 外	1,530
	利 用 日 数	233		本館・野外	4,635
	利 用 率 (%)	74.4		計	22,392

(2) 団体別利用状況

団体別延べ人数	学 校	小 学 校	団 体 数	27
			延 べ 人 数	5,571
		中 学 校	団 体 数	3
			延 べ 人 数	945
		子 ども 会 等	団 体 数	236
			延 べ 人 数	11,654
	指 導 者 団 体	団 体 数	1	
		延 べ 人 数	156	
	主 催 事 業	家 族 デ ー	団 体 数	19
			延 べ 人 数	2,558
		自 然 の 家	団 体 数	19
			延 べ 人 数	1,241
		そ の 他	団 体 数	3
			延 べ 人 数	126
	保 育 園 等 日 帰 り	団 体 数	14	
延 べ 人 数		126		
そ の 他	団 体 数	1		
	延 べ 人 数	15		
計	団 体 数	323		
	延 べ 人 数	22,392		

(3) 少年自然の家主催事業（共催事業含む）

「少年キャンプ大会」、森林体験「ふれあいの森」、家族デー、自然観察会、少年の村

青少年クリエイティブセンター

1 施設の概要

目 的 青少年の人権意識の醸成を図り、青少年の学習活動や交流の促進・支援をし、全ての人権問題や社会的課題の解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う。
(平成24年(2012年)3月30日条例改正)

施 設 青少年会館、体育館と運動広場を有し、概要は次のとおりである。

	青 少 年 会 館	体 育 館	運動広場(愛称：光のひろば)
位 置	岸部中1丁目16番1号		岸部中1丁目18番1号
開館年月日	昭和56年(1981年)4月1日		平成7年(1995年)5月1日
敷地面積	3,364.7㎡		11,512㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋コンクリート造・鉄骨造平屋建一部2階建	
建築面積	778.5㎡	1,013.6㎡	
延べ床面積	2,051.6㎡	1,274.2㎡	

青少年会館は、学習・文化活動のための施設として、1階に遊戯室など、2階に学習室3室のほか、

工作室、絵画室、和室などがあり、3階は視聴覚室・研修室などとなっている。

体育館は、バレーボール、バドミントンなどができる体育室と56畳の武道室があり、2階部分は卓球室となっている。

運動広場は、少年ソフトボール、ミニサッカー、スリーオンスリーなどができる多目的広場となっている。

2 事業

青少年の学習活動と交流等の促進・支援及び保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的に4つの事業を実施している。

- (1) 学習活動推進事業では、自然観察等の体験活動、リーダー養成、学習会、自習室の提供等を実施している。
- (2) 交流推進事業では、青少年交流フェスティバルの開催や柔道、剣道等の教室、サークル活動等を実施している。
- (3) 子育て支援の推進事業は、小・中学生を対象とした子どもクラブ活動や人権講座、子育て相談等を実施している。
- (4) 情報提供事業では、広報誌による各事業の紹介や情報の提供を行っている。

3 平成26年度(2014年度)施設利用状況

青少年会館	1万8,923人	体育館	1万9,671人	運動広場	2万5,260人	
					計	6万3,854人

子育て青少年拠点夢つながり未来館（愛称：ゆいぴあ）

1 施設の概要

開設年月日	平成23年(2011年)3月26日
位置	山田西4丁目2番43号
目的	青少年が様々な活動を通じて、人と触れ合い、情報と出会い、その成長に応じた支援を受けることができる居場所であり、また安心して子育てができる環境をつくり、子育ての知識、体験等をここで学び合うための施設であり、さらにここを訪れる様々な年代の市民が図書館という情報の拠点も活用しながら、施設全体として子供たちが生まれてから子育て・子育てを経て成長し、自立するまでをトータルで支援することを目的としている。
敷地面積	2,348.32㎡
建築面積	1,319.50㎡
延べ床面積	7,585.48㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上7階地下2階建
	B2階 山田駅前図書館、駐輪場
	B1階 図書館事務室、管理事務室、駐車場、バイク置場、その他
	1階 エントランスホール、のびのび子育てプラザ
	2階 青少年活動サポートプラザ（青少年相談）

3階 青少年室、青少年活動サポートプラザ事務室
 4階～6階 青少年活動サポートプラザ

2 事業

お正月だよ！ゆいぴあに全員集合

平成27年（2015年）1月7日にゆいぴあの施設連携事業として、吹田市民を対象にお正月遊びを行った。当日は110人の参加があった。

子育てふれあい体験

ゆいぴあの施設連携事業として、吹田市内の高校生年代から30歳未満の青少年を対象に子育て体験事業を行った。平成26年度（2014年度）は延べ2名の青少年が子育てを体験した。

一般公開講座

ゆいぴあの施設連携事業として、一般公開講座「子育てってしんどいよね」、「子どもの育ちによりそう～そのためにできることとは～」を開催した。両日合わせ46人の参加があった。

子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ

1 施設の概要

開設年月日	平成23年(2011年)3月26日
位 置	山田西4丁目2番43号
目 的	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を行うことを目的とする。
敷地面積	2,348.32㎡
建築面積	1,319.50㎡
延べ床面積	5,726.26㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上7階地下2階建のうち2階～6階部分 2階 相談事務室、個別相談室、その他 3階 事務室、交流ロビー、学習室1、学習室2 4階 多目的会議室、工作室、調理室、和室、その他 5階 多目的リハーサル室、スタジオ、更衣室、その他 6階 多目的ホール

2 施設利用状況 平成26年度（2014年度）実績

利 用 件 数 (件)	12,164	
利 用 人 数 (人)	男	43,130
	女	94,687
	計	137,817

3 青少年活動サポートプラザ主催事業

ゆいぴあ（未来館）'s キッチン、ふらっと体験、夏祭り、七夕飾り付け、運動会、壁面飾り付け、スーパーストリートサッカー大会、そば打ち体験、環境かるた大会、オセロ大会、勉強も運動も好きになる親子で楽しむビジョントレーニング講座、ロボットプログラミング体験、国際交流事業、クリスマスイベント、多目的ホール開放事業、Whaleフェスティバル、一般公開講座「ひきこもりと不登校の行方」、「ひきこもりと最近の若者支援の動向と実際」、「ひきこもり～親としての支援～」、若者のためのコミュニケーション力アップ講座

4 青少年交流活動支援事業

青少年の自立や社会参画を促すことを目的とした居場所づくりや青少年の自主的な活動に対し必要に応じた支援を行う。また青少年講座や各種イベントの企画、運営さらにロビーワーカー（青少年ボランティア）の人材確保や育成を行う。

5 青少年相談事業

ひきこもり、ニート、不登校、など様々な生きづらさを感じて、社会とのつながりが少なくなっている青少年やその家族に対し、臨床心理士など専門の資格を有した相談員がその自立を支援する。

平成26年度（2014年度）実績

相談ケース数	254ケース（うち26年度新規ケース 131ケース）
相談回数	2,564回

スポーツの推進

1 スポーツ施設の利用状況

平成26年度(2014年度) (単位：人)

中の島スポーツグラウンド			桃山台スポーツグラウンド			山田スポーツグラウンド			南正雀 スポーツ グラウンド	高野台 スポーツ グラウンド	合 計
野 球	テニス	小 計	野 球	テニス	小 計	野 球	テニス	小 計	テニス	野 球	252,396
37,007	37,998	75,005	39,404	27,525	66,929	14,516	17,518	32,034	49,698	28,730	

市 民 プ ー ル					市 民 体 育 館				
片 山	北 千 里	南 千 里	中 の 島	合 計	片 山	北 千 里	山 田	南 吹 田	目 俵
194,905	30,784	21,151	11,806	258,646	136,110	112,053	162,127	77,601	152,450

市民体育館	武 道 館	総 合 運 動 場
合 計		
640,341	98,719	113,415

2 市民体育館

区 分	片山市民体育館	北千里市民体育館	山田市民体育館	南吹田市民体育館	目俵市民体育館
位 置	出口町31番2号	藤白台5丁目5番1号	山田西3丁目84番1号	南吹田5丁目34番1号	目俵町1番11号
開設年月日	昭和47年(1972年) 10月12日、平成11年(1999年)11月14日 全面改修供用開始	昭和55年(1980年) 4月13日、平成8年(1996年)7月1日全面改修供用開始	昭和61年(1986年) 7月30日	平成2年(1990年) 5月17日	平成9年(1997年) 5月18日
延べ床面積	4,347 m ²	4,487 m ²	5,445 m ²	3,717 m ²	11,731 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造	鉄骨造平屋建一部鉄筋コンクリート造2階建	鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造	鉄骨平屋造一部2階建	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下1階地上3階建
観覧席	290席 障がい者用スペース有り	280席	460席	200席	435席 障がい者用スペース有り

使用料 《専用使用》

(単位：円)

体育室名		使用区分	午前の部	午後の部	夜間の部	全 日
			9：00 ～12：00	13：00 ～17：00	18：00 ～21：00	9：00 ～21：00
第1体育室	全 面		7,200	10,800	15,000	30,000
	半 面		3,600	5,400	7,500	15,000
第2体育室	片山・南吹田		1,500	2,100	3,000	6,000
	北千里・山田・目俵		3,600	5,400	7,500	15,000
第3体育室	全 館		1,500	2,100	3,000	6,000
第4体育室	全 館		1,500	2,100	3,000	6,000
第5体育室	南吹田を除く		1,500	2,100	3,000	6,000
多目的ホール	目俵のみ		1,800	2,500	3,600	7,500

※使用者の住所(法人はその事務所の所在地)が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。多目的ホールの夜間及び全日の使用時間は、午後10時まで。また、カラオケを利用する場合、1時間につき400円別途必要。

使用料 《個人使用》

(単位：円)

使用者	使用区分	午 後 の 部		夜間の部	回数券料金	
		9：00～ 12：00	13：00～ 15：00			15：00～ 17：00
小学生・中学生		140	70	70	140	70円券11枚綴り 700円
一 般		300	150	150	300	150円券11枚綴り 1,500円

開館時間 午前9時～午後9時(ただし、第1月曜日 山田市民体育館、第2月曜日 片山市民体育館、第3月曜日 目俵市民体育館、第4月曜日 北千里・南吹田市民体育館は午後6時～午後9時。該当する月曜日が休日に当たる場合は通常開館とし、翌日が午後6時～9時。また、多目的ホールは午後10時まで。)

休館日 12月29日～1月3日

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

3 市民プール

区分	片山市民プール	北千里市民プール
位置	出口町31番1号	藤白台5丁目5番2号
開設年月日	昭和37年(1962年)8月2日	昭和41年(1966年)7月25日 [昭和48年(1973年)6月に府から引き継ぐ]
設備	競泳用(9コース) 50×19×1.2～1.4m 容量 1,230m ³ 子供用(6コース) 25×12×0.9～1.0m 容量 290m ³ 幼児用(変形) 水深0.45～0.6m 容量 280m ³ 室内(8コース) 25×17×1.15～1.35m 容量 530m ³	競泳用(9コース) 50×19×1.3～1.6m 容量 1,420m ³ 子供用(変形) (A) 水深0.7～1.1m 容量 1,100m ³ (B) 水深0.7～0.9m 幼児用(変形) 水深0.25～0.4m 容量 80m ³
区分	南千里市民プール	中の島市民プール
位置	高野台1丁目4番10号	中の島町6番1号
開設年月日	昭和39年(1964年)7月23日 [昭和48年(1973年)6月に府から引き継ぐ]	昭和54年(1979年)7月21日
設備	競泳用(7コース) 25×15×1.1～1.3m 容量 450m ³ 子供用(変形) 水深0.7～0.9m 容量 300m ³ 幼児用(変形) 水深0.32～0.35m 容量 80m ³	競泳用(8コース) 25×17×1.1～1.3m 容量 500m ³ 子供用(変形) 水深0.5～0.75m 幼児用(変形) 水深0.3～0.32m } 容量計 140m ³

利用時間 7月1日～8月31日 平日 10:00～18:00 土曜日、日曜日・休日 9:00～18:00
ただし、片山市民プールの室内プールのみ 21:00まで。

※片山市民プールについては、室内プールの2階にトレーニングルーム(476m²)、ランニングコース(120m)、観覧席(120席)を設け、総合的な体力づくりができる施設として、平成元年(1989年)4月30日から供用開始。

室内プール(温水プール)

利用期間 9月1日～6月30日

利用時間 平日 13:00～21:00

土曜日、日曜日・休日 9:00～21:00

定休日 火曜日、12月28日～1月4日

その他 トレーニングルームの使用料金はプール使用料金と同額。

使用料

(単位：円)

区分	入場料金				超過料金	
	普通券		回数券(11枚綴り)		(1時間まで増すごとに)	
	夏期 (2時間)	冬期 (1時間)	夏期	冬期	夏期	冬期
中学生以下	150	150	1,500	1,500	70	150
一般	300	350	3,000	3,500	150	350

(注) 冬期は片山市民プールの温水プール料金(1時間単位)

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

4 スポーツグラウンド

区分	中の島スポーツグラウンド	桃山台スポーツグラウンド	高野台スポーツグラウンド
位置	中の島町6番1号	桃山台5丁目5番1号	高野台5丁目1番6号
開設年月日	昭和39年(1964年)4月1日	昭和46年(1971年)9月1日 (府から引き継ぐ)	昭和46年(1971年)9月1日 (府から引き継ぐ)
敷地面積	22,671 m ²	25,130 m ²	7,738 m ²
設備	野球場 2面 テニスコート 4面 (ナイター設備有り)	野球場 1面 テニスコート 4面 (ナイター設備有り)	野球場 1面(少年用)

区分	山田スポーツグラウンド	南正雀スポーツグラウンド
位置	山田西2丁目17番1号	南正雀2丁目33番30号
開設年月日	昭和58年(1983年)4月1日	平成3年(1991年)4月13日
敷地面積	12,099 m ²	7,102 m ²
設備	野球場 1面 テニスコート 2面	テニスコート 5面 (ナイター設備有り)

利用時間 3月1日～11月30日 7:00～21:00、12月1日～2月末 9:00～21:00

ただし、山田スポーツグラウンドについては1年を通して利用時間 9:00～17:00

高野台スポーツグラウンドについては、

利用時間 3月～4月 7:00～17:00

5月～8月 7:00～19:00

9月～11月 7:00～17:00

12月～2月 9:00～17:00

使用料

(単位：円)

	ナイター 点灯時間	野球(市内団体)				テニス(市内在住・市内在勤・市内在学)			
		7～9時	9～17時	17～19時	19～21時	7～9時	9～17時	17～19時	19～21時
1月	17時	—	1,500	9,500	9,500	—	600	1,600	1,600
2月	17時	—	1,500	9,500	9,500	—	600	1,600	1,600
3月	17時	1,500	1,500	9,500	9,500	600	600	1,600	1,600
4月	18時	1,500	1,500	5,500	9,500	600	600	1,100	1,600
5月	18時半	1,500	1,500	3,500	9,500	600	600	850	1,600
6月	19時	1,500	1,500	1,500	9,500	600	600	600	1,600

	ナイター 点灯時間	野球(市内団体)				テニス(市内在住・市内在勤・市内在学)			
		7～9時	9～17時	17～19時	19～21時	7～9時	9～17時	17～19時	19～21時
7月	19時	1,500	1,500	1,500	9,500	600	600	600	1,600
8月1 ～15日	18時半	1,500	1,500	3,500	9,500	600	600	850	1,600
8月16 ～31日	18時	1,500	1,500	5,500	9,500	600	600	1,100	1,600
9月1 ～15日	18時	1,500	1,500	5,500	9,500	600	600	1,100	1,600
9月16 ～30日	17時半	1,500	1,500	7,500	9,500	600	600	1,350	1,600
10月	17時	1,500	1,500	9,500	9,500	600	600	1,600	1,600
11月	17時	1,500	1,500	9,500	9,500	600	600	1,600	1,600
12月	17時	—	1,500	9,500	9,500	—	600	1,600	1,600

※使用者の住所(法人にあっては、その事務所の所在地)が市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

※9～17時は、1コマ(2時間)の料金。

※高野台スポーツグラウンドについては無料。

休 日 12月29日～1月3日

5 武道館(洗心館)

位 置	山田北2番1号	
敷 地 面 積	4,964 m ²	
建 築 面 積	2,949 m ²	
延 べ 床 面 積	9,064 m ²	
構 造 ・ 規 模	鉄筋コンクリート造地下2階地上3階建日本瓦葺鉄骨屋根造	
開 設 年 月 日	平成5年(1993年)4月25日	
施 設 内 容	第1武道室(板敷4面 1,008 m ² 観覧席 267席) 第2武道室(畳敷5面 1,292 m ² 観覧席 244席) 第3武道室(板敷2面 694 m ² 観覧席 99席) 弓道場(10人立 438 m ²) 駐 車 場 65台収容 駐 輪 場 103台収容 指導員室、更衣室、会議室等	
休 館 日	12月29日～1月3日 ただし、第1月曜日(休日の場合は第2月曜日)は夜間のみ開館	

使用料

専用使用料

(単位：円)

施設の名称	使用時間	午前の部	午後の部	夜間の部	午前・午後	午後・夜間	全日
		9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00
第1 武道室		7,200	10,800	15,000	18,000	25,800	30,000
第2 武道室		7,200	10,800	15,000	18,000	25,800	30,000
第3 武道室		3,600	5,400	7,500	9,000	12,900	15,000
弓道場	10人立ち	5,200	7,500	10,500	12,700	18,000	21,000
	5人立ち	2,600	3,750	5,250	6,350	9,000	10,500

※使用者の住所（法人にあっては、その事務所の所在地）が市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

個人使用料

(単位：円)

使用者	使用時間	午前の部	午後の部	夜間の部	回数券
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～21:00	(11枚綴り)
小学生・中学生		150	150	150	1,500
一般		300	300	300	3,000

※小学生・中学生は、保護者同伴でなければ夜間は使用できない。

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

6 総合運動場（第4種公認陸上競技場）

位 置	竹谷町37番1号
敷地面積	30,975 m ²
建築面積	2,002 m ² （駐車場等を含む）
延べ床面積	9,766 m ² （駐車場等を含む）
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下2階地上3階建
開設年月日	平成6年(1994年)5月15日
施設内容	トラック 準全天候型舗装（緑色岩）一周 400m×8レーン フィールド 天然芝舗装 100m×65m トレーニング室 307 m ² 室内走路 全天候型舗装 直線 50m×3レーン 観覧席 1,000人収容 駐車場 233台収容 駐輪場 230台収容 役員控室、会議室、放送室、更衣室等
休場日	12月29日～1月3日 ただし、第3月曜日(休日の場合は第4月曜日)は夜間のみ開館

使用料

専用使用料

(単位：円)

使用時間 使用施設	午前の部	午後の部	夜間の部	午前・午後	午後・夜間	全日
	9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00
トラック・フィールド	18,000	27,000	36,000	45,000	63,000	81,000
トラック	6,000	9,000	12,000	15,000	21,000	27,000
フィールド	全面	12,000	18,000	24,000	30,000	54,000
	半面	6,000	9,000	12,000	15,000	27,000

※使用者の住所（法人にあっては、その事務所の所在地）が市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

個人使用料

(単位：円)

使用時間 使用者	午前の部	午後の部	夜間の部	回数券 (11枚綴り)
	9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～21:00	
小学生・中学生	150	150	200	1,500
一般	300	300	400	2,000

※小学生・中学生は、保護者同伴でなければ夜間は使用できない。

※使用者の住所が本市外であるときは、本表使用料の10割増しの料金となる。

ただし、市内に在学・在勤の方は、市在住と同じ料金となる。

附属設備使用料

(単位：円)

使用時間 使用施設	午前の部	午後の部	夜間の部	午前・午後	午後・夜間	全日
	9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00
電光掲示板一式	4,000	5,400	4,000	9,400	9,400	13,400
放送設備一式	3,000	3,000	3,000	6,000	6,000	9,000
ナイター照明	30分以内(全灯) 2,250 (半灯) 1,150					

※市外利用者は倍額

※その他附属用具についても使用料が必要

7 学校体育施設の開放

(1) 学校体育施設の開放(昼間・夜間)

市民の体力づくり、健康増進を図るため、学校教育に支障のない範囲で、地域住民を対象に学校体育施設を開放している。

昼間は小学校35校、中学校18校で土曜日、日曜日、祝日、休業日の午前9時から午後5時まで(小学校の祝日・休業日を除く土曜日は午後1時から5時まで)運動場と体育館を開放し、年間32万6,909人が利用した。

夜間は、小学校35校、中学校13校で午後6時から9時まで体育館を開放し、年間13万5,014人が利用した。

(2) 中学校運動場ナイター施設の開放

地域住民、特に勤労者のスポーツに関する要求に応えるため、ナイター施設を設置した中学校7校の運動場を、学校教育に支障のない範囲で開放している。

開放期間は4月1日から3月31日（12月1日から3月31日の冬季については、5校のみ開放）までの週7日とし、年間2万6,403人が利用した。

8 市長杯大会・教室等事業 平成26年度(2014年度)

市民誰もが参加できる身近なスポーツ大会である市長杯(旗)体育大会や種目別1日スポーツ教室を開催するとともに対外試合に選手を派遣することで、各競技のレベルアップやスポーツ人口の拡大を図っている。

(1) 市長杯(旗)体育大会

31種目、74大会を開催し、延べ3万7,260人が参加した。

(2) 種目別1日スポーツ教室

11種目、19回を開催し、延べ356人が参加した。

(3) 対外試合

三島地区総合体育大会、大阪府総合体育大会、大阪府市町村対抗駅伝競争大会に延べ762人が参加した。

9 健康づくり推進事業

(公財)吹田市健康づくり推進事業団が、平成26年度(2014年度)に実施した次の事業を後援した。

第31回吹田市民健康づくりフェスティバル実施状況

行事名	実施年月日	会場	参加数(人)
てくてくハイク	平成26(2014).5.11	市内・郊外コース	125
さわやかスカイクロス	平成26(2014).5.26	市内中学校	457
スポーツフェスティバル	平成26(2014).11.9	市内体育館5館	1,444
2014吹田万博国際ふれあいマラソン	平成26(2014).11.30	万博記念公園特設コース	4,215
合		計	6,241

10 市民体育祭

昭和23年(1948年)から実施し、昭和35年度(1960年度)に従来の中央大会方式から各小学校区ごとに開催されている。

平成26年度(2014年度)は32地区で開催され、5万6,915人の市民が参加した。(※1地区は台風のため中止)

11 スポーツ教室

近年、市民の体育・スポーツに対する関心が高まりつつある中で、指導者の養成、市民の体力づくりや健康増進等を図る手段としてスポーツ教室の果たす役割は大きい。本市においても下記のスポーツ教室を始め、各スポーツ施設を中心としたスポーツ教室を積極的に実施している。

(1) 体育館のスポーツ教室

市民体育館は片山市民体育館、北千里市民体育館、山田市民体育館、南吹田市民体育館、目黒市民体育館の5館があり、スポーツ教室を中心に効率的な運営を図っている。

平成26年度(2014年度)教室数 152教室 参加人員 延べ24万4,169人

(2) 武道館のスポーツ教室 平成 26 年度(2014 年度)

剣道、居合道、柔道、日本拳法、空手道、少林寺拳法、合気道、弓道、なぎなた、レスリング、
ヨーガ、太極拳の各教室を実施している。参加人員 2 万 7,685 人

(3) 総合運動場のスポーツ教室等 平成 26 年度(2014 年度)

小学生陸上競技教室等 13 事業が開催され、延べ 4 万 6,570 人が参加した。

12 スポーツ大会（全国大会等）の参加経費助成

市民のスポーツ意欲を高め、競技スポーツの普及を図るため、大会の予選等を経て、大阪府の代表として全国大会等に参加する市民等に対し、昭和 60 年度(1985 年度)からその参加経費の一部を助成する制度を実施し、平成 26 年度(2014 年度)は 23 大会に出場した 62 人に助成金を交付した。

13 生涯スポーツ指導事業

他部局や地域団体が実施する事業や公民館が実施する健康づくり事業、また、小学校の体育授業などに専門職員を派遣し、運動に関する講義、実技指導を行い、地域住民の健康増進、生涯スポーツの推進を図る。平成 26 年度(2014 年度)は、383 件の依頼があり 1 万 3,604 人が参加した。

14 運動あそびプログラム推進事業

市立の幼稚園・保育所を巡回訪問し、園児指導や職員研修を行い、「運動あそびプログラム」を普及・推進することにより、子供たちの元気な『からだ』と豊かな『こころ』を育むことを目的として実施した。平成 26 年度(2014 年度)は 316 回の巡回と研修会を実施し、園児・職員 1 万 2,141 人が参加した。

15 スポーツ指導者の育成

吹田市社会体育リーダーや高齢者のスポーツの指導者、各競技スポーツの指導者を養成し、各指導者の資質向上のため各種研修会を実施した。

- ・地域スポーツ指導者養成

平成 26 年度(2014 年度)は、吹田市社会体育リーダー養成講座 32 人、高齢者スポーツの指導者講習会 29 人を認定した。

- ・競技スポーツ指導者養成

平成 26 年度(2014 年度)は、スポーツ指導員 52 人を認定した。